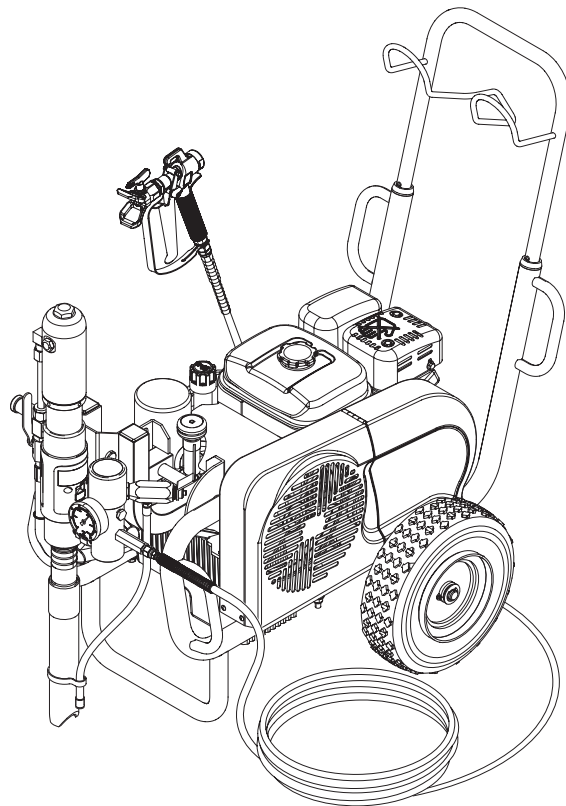


操作説明書

HC950 · HC970



警告！

注意：注入によるケガの恐れ！
エアレス装置は極めて高圧なスプレーを生じます。圧力のかかったスプレーは重大なケガの危険性があります。



①

スプレージェットに手を近づけないでください。

スプレーガンの人に向けないで下さい。

安全ガードのついていないスプレーガンは使用しないでください。

スプレーによるケガを軽視しないでください。

塗料・溶剤による皮膚のケガが生じた場合は：
使用していた塗料、溶剤名を書きとめてください。
医師の診断をただちに受けてください。

②

本装置を使うすべての作業の前にすべきこと：

1. 故障した部品が使われていないか確認してください。
2. スプレーガンの引き金をロックしてください。
3. 装置が接地されていることを確認してください。
4. 高圧ホースとスプレーガンの許容作動圧力を確認してください。
5. すべての接続部分から漏れがないか確認してください。

③

装置の洗浄、メンテナンスに関する手順をしっかりと熟読してください。

本装置を使うすべての作業中断および装置故障の後にすべきこと：

1. スプレーガン、装置から残圧を抜いてください。
2. スプレーガンの引き金をロックしてください。
3. 装置の動力部【エンジン）を必ずオフにしてください。

常に安全に注意してください！

製品仕様

仕様一覧

型式	HC950	HC970
最大締切圧力	25.0Mpa	25.0Mpa
吐出量	8.0 ℓ/min	12.0 ℓ/min
駆動源	ガソリンエンジンGX 160	ガソリンエンジンGX 270
定格/ 最大出力	3.0kw/ 4.1kw	5.3kw/ 6.8kw
圧力制御	油圧ポンプ	油圧ポンプ
本体重量	76kg	88kg
外寸法(L×W×H)	1185×955×655	1200×955×655

標準付属品

ダイレクトサクシオン型D	ホッパー型 H
本体セット(D) (ダイレクトサクシオン) 高圧エアレスホースφ9×30m エアレスガンAG-14(J) トレードチップセット431 袋ナット付異径ジョイント (G1/2F×G3/8M) 工具 潤滑油 操作説明書	本体セット(H) 80Lホッパーセット 高圧エアレスホースφ12.7×30m 高圧エアレスホースφ19×20m 手元ホースφ9×2m エアーホースφ8.5×60m (両端金具付) 袋ナット付異径ジョイントG1/2F×G3/4M 異径ホースジョイントG1/2M×G3/4M 異径ホースジョイントG1/2M×3/8M エアレスガンAG-14(J) トレードチップセット431 玉吹きアタッチメント、丸ブラシ 工具 潤滑油 操作説明書

目次

	ページ		ページ
1. エアレススプレーの安全規定	3	9. トラブルシューティング	15
1.1 本操作説明書で使用する警告、注意、記号.....	4	9.1 ガソリンエンジン.....	15
1.2 ガソリンエンジンの安全規定.....	5	9.2 塗料供給ポンプ.....	15
1.3 傾斜面への設置の場合.....	5	10. 保守点検	16
2. 対象塗装およびコーティング剤	6	10.1 一般的な保守点検.....	16
2.1 対象塗装.....	6	10.2 油圧オイルタンクのオイル量の確認.....	16
2.2 コーティング剤.....	6	10.3 油圧オイルタンクのオイルとオイルフィルターの交換.....	16
3. 装置の説明	6	10.4 高圧塗料ホース.....	16
3.1 エアレスの手順.....	6	部品リスト	17
3.2 装置の機能.....	6	全体図.....	17
3.3 ガソリン用HC装置の名称.....	7	カート.....	19
3.4 ガソリン用HC装置の図面.....	7	油圧ポンプ部.....	21
3.5 ガソリン用HC装置の技術データ.....	8	油圧モーター.....	23
3.6 運搬.....	9	塗料ポンプ.....	25
3.7 台車による運搬.....	9	フィルターセット.....	27
3.8 クレーンによる運搬.....	9	エンジン部.....	29
4. 運転の開始	10	ベルトカバー部.....	30
4.1 塗料供給ポンプ位置を変更する.....	10	リターンバルブセット.....	31
4.2 高圧ホース、スプレーガン、潤滑油.....	11	製品保証	32
4.3 ガソリンエンジン.....	11		
4.4 初回始動時に予備液を流す.....	11		
4.5 塗料を使用して、装置を操作する.....	12		
5. スプレー技術	12		
6. 高圧塗料ホースの取扱い	12		
7. 作業の中断	12		
8. 作業の終了と洗浄	13		
8.1 装置の外側を洗浄する.....	13		
8.2 高圧フィルターの洗浄.....	13		

1. エアレススプレーの安全規定

1.1 本操作説明書で使用する警告、注意、記号

本操作説明書では、警告指示の記載により、ユーザーおよび装置に対する固有の危険を強調し、危険を回避するための対策について述べています。この警告指示は、以下のカテゴリーに分類されます：

	遵守しなければ、死亡、重傷および人身への重大な事故を引き起こします。安全に関する重要な情報が記載されています。
 注意	遵守しなければ、負傷事故・器物破損を引き起こす可能性があります。装置への損傷や負傷事故を予防する重要な情報が記載されています。
	皮膚への注入、損傷の危険
	溶剤・塗料の蒸気による火災の恐れ
	溶剤・塗料の蒸気、不適切な材料による爆発の恐れ
	有害な蒸気の吸い込みによる負傷の恐れ
	注記 — 特定性質、手順についての情報



皮膚への注入、損傷の危険

本装置による高圧ジェットは、皮膚と皮下組織に穴をあけ、重傷につながります。スプレーによるケガを軽視しないでください。

塗料・溶剤による皮膚のケガが生じた場合は：
使用していた塗料、溶剤名を書きとめてください。医師の診断をただちに受けてください。

事故防止のために：

- ・ スプレーガンに人に向けないで下さい。
- ・ スプレージェットに手を近づけないでください。流体ホースの漏れに手を近づけないでください。
- ・ スプレーガンを手に向けないで下さい。作業用手袋を着用していても高圧ジェットは防護できません。
- ・ メンテナンス、洗浄、チップの交換、および作業の中断時は、常にスプレーガンの引き金をロックしてください。エンジンをストップし、スプレーガン、装置から残圧を抜いてください。エンジンを停止させるだけでは圧力は抜けません。スプレーバルブ、圧力バルブを正しい位置に戻して下さい。
- ・ スプレー中はチップガードを正しい位置に維持してください。
- ・ システムの循環、洗浄時は、常にスプレーチップを外してください。
- ・ スプレーガンの引き金やチップガードが故障している場合は、スプレーガンを使用しないでください。

- ・ スプレーチップ、ガン、エクステンション、ホースを含む、すべての付属品が最大作動圧力に対応できることを確認してください。



警告： 高圧ホース

塗料ホースは、摩耗、ねじれ、その他乱用により漏れを発生する可能性があります。漏れは材料の皮膚への注入の危険があります。毎日ホースの点検をしてください。

事故防止のために：

- ・ 毎回作業の前に、高圧ホースの点検をしてください。
- ・ 損傷している高圧ホースはただちに交換してください。
- ・ 高圧ホースを自分で修理しないでください。
- ・ 鋭い曲りや折れを避けてください。
- ・ いかなる場合でも、交通量の多い場所、鋭く尖った角部、可動部、高温部に高圧ホースを設置しないでください。
- ・ 高圧ホースで装置を引っ張ったり、動かしたりしないでください。
- ・ 高圧ホースをよじらないでください。
- ・ 高圧ホースを溶剤に浸さないでください。ホースの外側は濡れた布で拭いてください。
- ・ 高圧ホースでつまづかないように、正しい場所に設置してください。



安全性、機能性、耐久性を確実にするために、WAGNERの純正ホース、アクセサリのみ使用してください。



警告： 爆発または火災

溶剤や塗料の蒸気は爆発または発火する恐れがあります。



事故防止のために：

- ・ 発火温度が21° C以下のコーティング剤は使用しないでください。
- ・ 防爆規定に定められている作業エリアで本装置を使用しないでください。
- ・ 塗料や溶剤の揮発蒸気が滞留しないように、作業エリアは常に換気をしてください。
- ・ 作業エリアに火や、火を付けたタバコ、赤熱したワイヤー、高温の表面、研削切断による火花などの引火源がないことを確認してください。また、溶剤の缶、ガソリン、燃えやすいゴミ、布などを置かないでください。
- ・ 作業エリアで喫煙しないでください。
- ・ 装置は被塗物から十分な距離をとり、よく換気された場所に設置してください。(必要な場合、延長ホースを使用してください。)可燃性蒸気は通常空気よりも重く、床面は極めて注意を払い、換気をしてください。
- ・ 作業エリアの装置と被塗物は正しく接地アースされていなければなりません。静電気が発生するとスパークを起こし、火災・爆発・電気ショックの原因になります。
- ・ 伝導性の接地アースされた高圧ホースのみ使用してください。ガンはホースの接続部を通じて接地アースしてください。
- ・ 常に別の金属製容器に、ポンプが低圧で、スプレーチップを外した状態で循環してください。

- ・ コーティング剤の容器や包装材、または同梱の資料に記載されている取扱上の注意を参照してください。
- ・ 装置の循環時には、できるだけ低圧状態で行ってください。
- ・ 溶剤を使って本機を洗浄する際、口(栓)の小さい容器の中にスプレーしないでください。爆発性の混合ガスが発生して危険です。
スプレーを受ける容器は、接地アースされていなければなりません。



警告：有害な蒸気

塗料、溶剤、その他コーティング剤は、有害な蒸気を発生する恐れがあり、吸い込んだり、直接触れたりすると危険です。有害な蒸気は深刻な吐き気、めまい、中毒を引き起こす恐れがあります。

事故防止のために：

- ・ スプレー作業中は、保護マスクを着用してください。保護マスクの使用説明書を読んで、マスクが使用するコーティング剤に対応することを確認してください。
- ・ 有害な蒸気に関する現地の法規には、必ず従ってください。
- ・ 安全ゴーグルを着用してください。
- ・ 皮膚を保護するため、防護服や安全ゴーグル、手袋、場合によっては皮膚保護クリームが必要です。準備や作業、機械の洗浄を行う際は、使用している塗料、溶剤、洗剤のメーカーの処理規定に従ってください。



警告：その他の安全規定

本装置は重大な負傷事故・器物破損を引き起こす可能性があります。

事故防止のために：

- ・ 国、地方自治体、現地の法令必要条件、事故防止規定を遵守してください。
- ・ スプレーガンの反跳によるケガの危険を防ぐために、作業時は、しっかりとした地面の上で行ってください。長時間続けてスプレーガンを握ることは避けてください。
洗浄する時は、スプレーチップを外して、圧力コントロールノブをできるだけ低圧に設定してください。
- ・ 付属品、部品、操作工具などは、その機種に規定されたものを、操作説明書に従って使用してください。
- ・ 使用する塗料、溶剤の製造メーカーの取扱説明書をよく読んでください。
- ・ 床面にこぼれた塗料、溶剤はただちに拭き取って、滑りを防いでください。
- ・ 防音保護具を着用してください。本装置は騒音レベル 85 dB(A)以上を発生します。
- ・ 本装置を放置しないでください。使用していない本装置は、子どもの手の届かない場所に保管してください。本装置の使用法に詳しくない人や、操作説明書を読んでいない人には、本装置を使用させないでください。
- ・ 風の強い日の作業はやめてください。
- ・ 装置、使用する塗料、溶剤の廃棄は、各製造メーカーが制定した処理規程、および国・地方自治体の法規・規則に従ってください。

1.2 ガソリンエンジンの安全規定



常に装置をよく換気された場所に設置してください。エンジンの排気口から溶剤を近づけないでください。エンジンが作動している状態、もしくは熱い状態で、タンクを充填しないでください。高温部への接触により燃料が発火する恐れがあります。常にポンプ部から接地アースされた被塗物へアース線を取り付けてください。すべての安全規定については、エンジンの製造メーカーにお問い合わせください。

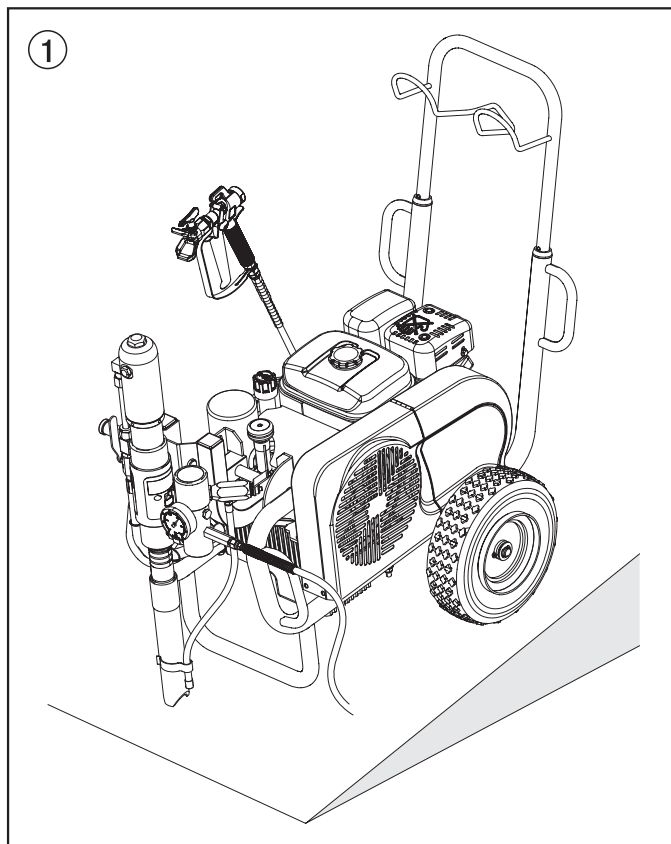
1. ガソリンエンジンは操作説明書に従って作動された場合、安全で一貫的なサービスを提供するように設計されています。エンジンの操作前に、エンジンの製造メーカーの操作説明書を熟読してください。さもなければ、負傷事故・器物破損を引き起こす可能性があります。
2. 火災予防と十分な換気のために、作業中はエンジンを建物や他の装置から少なくとも1メートル以上離してください。エンジン付近に可燃性の物を置かないでください。
3. 装置を使って作業するスタッフ以外は作業エリアから離れてください。エンジン部品が高温になり、火傷・ケガの恐れがあります。
4. エンジンの緊急停止、その他すべての操作方法を理解してください。操作説明書を読んでいない人にエンジンを作動させないでください。
5. ガソリンは可燃性が極めて高く、特定環境下では爆発の危険があります。
6. ガソリンの充填は、よく喚起された場所で、エンジンが停止された状態で行ってください。ガソリンが保管されている場所で喫煙しないでください。近くに火や、火をつけたタバコ、赤熱したワイヤー、火花などの引火源がないことを確認してください。
7. 燃料タンクをいっぱいにしすぎないでください。充填後は、タンクキャップを正しくしっかりと締めてください。
8. 充填時は燃料をこぼさないよう、注意してください。燃料蒸気やこぼれた燃料は発火の恐れがあります。エンジン始動前にこぼれた燃料が完全に拭き取られ、床面が乾燥していることを確認してください。
9. 小スペースの密室でエンジンを作動させないでください。排気ガスは有毒な一酸化炭素を含み、大量に吸い込むと意識喪失や死亡につながります。
10. エンジンの作動中、マフラーはたいへん高温になり、エンジン停止後もしばらくの間は高温状態が続きます。マフラーへの接触に注意してください。火傷や火災を防ぐために、装置の移動や保管前に、エンジンが冷えていることを確認してください。
11. タンクにガソリンが入っている状態での装置の移動は絶対にやめてください。



本装置を水や酸のスプレーに使わないで下さい。

1.3 傾斜面への設置の場合

装置の前方を下方向に向けて、傾斜面上の転がりを防いでください。



2. 対象塗装およびコーティング剤

2.1 対象塗装

大規模エリアの下塗り／上塗り、シーリング、浸透処理、建設公衆衛生、外壁保護と補修、さび保護と建物保護、屋根コーティング、屋根シーリング、コンクリートの公衆衛生、ならびに腐食保護

被塗物の例

大規模建設現場、地下建設、冷却塔、橋梁、下水処理場、テラス

2.2 コーティング剤

使用できるコーティング剤



使用するコーティング剤のエアレス品質に注意してください。

ラテックス塗料、分散塗料、火災防止・厚膜剤、エアレススプレー下塗剤、スプレーできる接着剤、錆止剤、厚膜剤と瀝青コーティング剤

上記以外のコーティング剤はWAGNERにお問い合わせの上、使用してください。

フィルタリング

高圧フィルター以外に、コーティング剤のフィルターの使用をお勧めします。(エアレス・ジョイントフィルター使用時を除く)

使用前にコーティング剤をよくかき回してください。



モーター駆動の攪拌器を使用する場合は、気泡がかき混ざらないよう注意してください。気泡はスプレーを妨げ、作業の中断につながります。

粘度

本装置で高粘度のコーティング剤のスプレーが可能です。

高粘度のコーティング剤が吸い上げられない場合は、コーティング剤の製造メーカーの指示に従って希釈してください。

二液型コーティング剤

可使時間に注意し、適切な洗浄剤で時間内に洗浄を終えてください。

研磨成分を含むコーティング剤

研磨成分を含むコーティング剤はバルブ、高圧ホース、スプレーガン、チップの耐久性を低減させます。

3. 装置の説明

3.1 エアレスの手順

本装置は主に、大規模エリアにおける高粘度コーティング剤の大量噴霧のために使用します。

ピストンポンプがサクションによりコーティング剤を吸い上げ、チップまで運びます。最大250 bar (25 MPa)の圧力でチップからコーティング剤を霧化します。この高圧は極めてきめ細かい霧化(=マイクロファイン効果)を形成します。

この手順ではエアアが使用されないため、「エアレス」(=エアなし)と表現されます。

このスプレー方法には、細やかな霧化とスムーズで気泡なしのコーティング表面、作業スピードの速さといった利点があります。

3.2 装置の機能

以下の段落では、装置の機能をより理解していただくために、技術的構造を簡潔に説明しています。

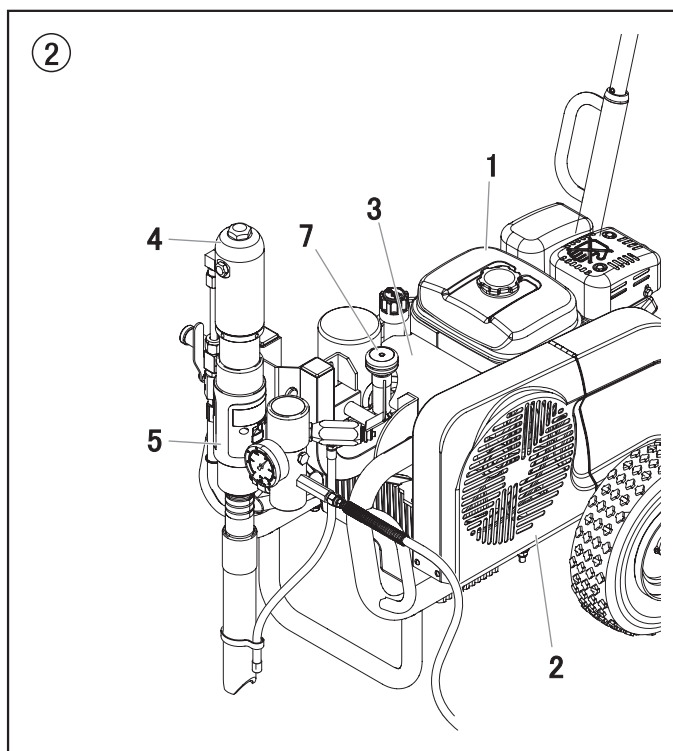
WAGNER HC 950・970 は、ガソリンで駆動する高圧スプレー装置です。

ガソリンエンジン(図2、項目1)が、ベルトカバー(2)下のV-ベルトを通して、ハイドロリックポンプ(3)を動かします。油圧油がハイドロリックモーター(4)に流れ、マテリアルフィードポンプ(5)の中でピストンを上下に動かします。

ピストンの上方向の動きにより、インレットバルブが自動的に開きます。アウトレットバルブはピストンの下方向の動きで開きます。

高圧がかかったコーティング剤が、高圧ホースを通してスプレーガンに流れます。コーティング剤はチップから出る瞬間に霧化されます。

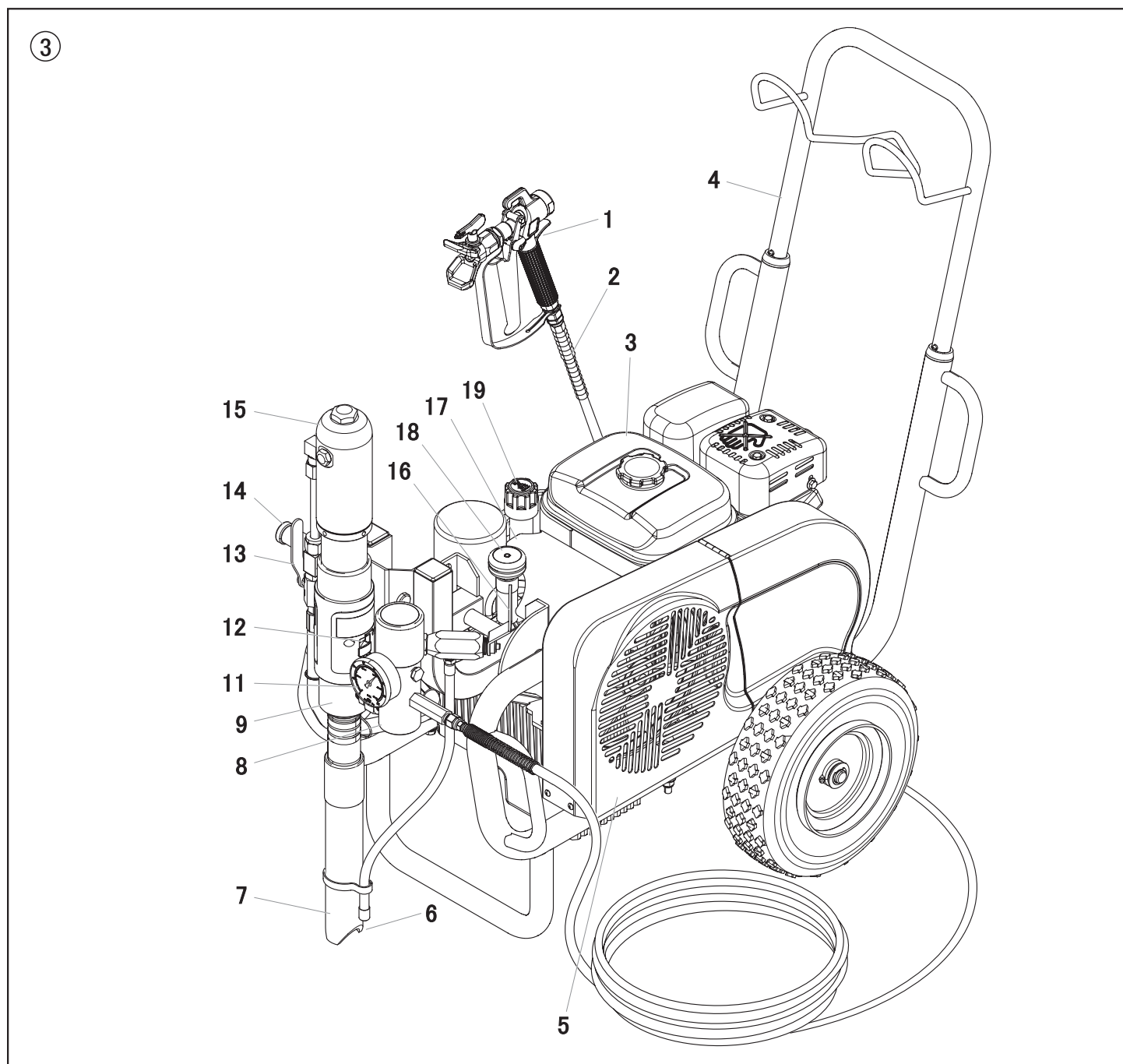
圧力調整バルブ(7)はコーティング剤の容量と作動圧力を調整します。



3.3 ガソリン用 HC 装置の名称

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1 スプレーガン | 12 潤滑油カップ(潤滑油はパッキンの摩耗・破損を軽減します) |
| 2 高圧ホース | 13 ボールバルブ: 水平方向 - ハイドロリックモーターOFF
垂直方向 - ハイドロリックモーターON |
| 3 ガソリンエンジン (GX160, 270) | 14 マテリアルフィードポンプ用スイベルハンドル |
| 4 ハンドル | 15 ハイドロリックモーター |
| 5 V-ベルト(ベルトカバー下) | 16 リリーフバルブハンドル: 循環 →左に回す
スプレー →右に回す |
| 6 リターンホース | 17 ハイドロリックオイルポンプ |
| 7 ダイレクトサクション | 18 圧力調整ノブ |
| 8 高圧フィルター | 19 オイル測定スティック |
| 9 マテリアルフィードポンプ - HC 950, HC 970 | |
| 11 圧力計 | |

3.4 ガソリン用 HC 装置の図面



3.5 ガソリン用 HC 装置の技術データ

	HC 950	HC 970
ガソリンエンジン		
4.1 kW (GX160) :	○	
6 kW (GX270) :		○
最大作動圧力		
25 MPa (250 bar):	○	○
最大吐出量		
8 l/min:	○	
12 l/min:		○
吐出量 12 MPa (120) bar		
7.6 l/min:	○	
11 l/min:		○
最大チップサイズ		
0.052 inch – 1.30 mm:	○	
0.056 inch – 1.42 mm:		○
コーティング剤の最高温度		
43° C:	○	○
最高粘度		
50.000 mPa·s:	○	
65.000 mPa·s:		○
フィルターインサート(標準装備)		
0 Mesh:	○	○
重量		
76 kg	○	
88 kg		○
油圧油の充填量		
4.7 l ISO 32:	○	○
寸法 L x W x H		
1185 x 955 x 655 mm:	○	
1200 x 955 x 655 mm:		○
最大音圧レベル		
92 dB (A)*	○	
98 dB (A)*		○

* 測定場所:装置から1 mの距離、音響フロアから1.60 m、作動圧力=120 bar (12 MPa)

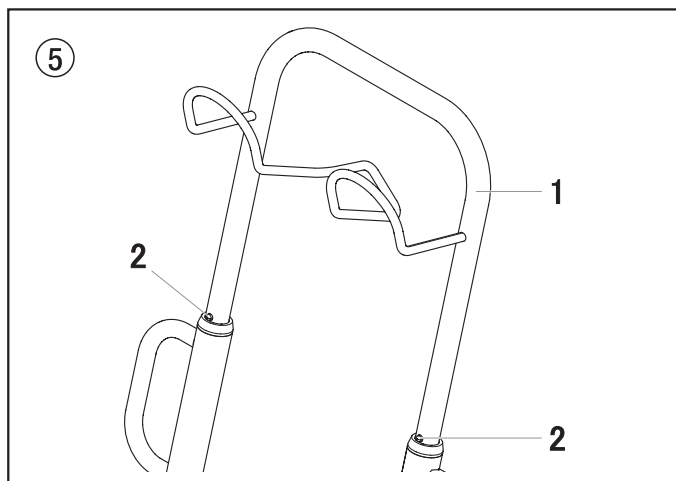
3.6 運搬



積み降ろし時に、カートの手柄で本機を持ち上げないでください。装置はかなりの重量があります。持ち上げ作業は、3人で行っていただく必要があります。

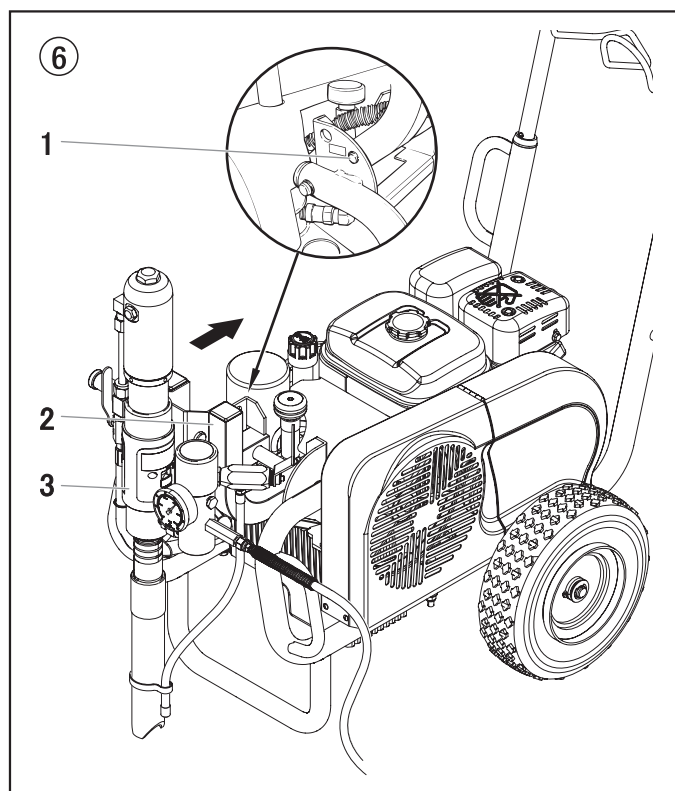
ハンドル

ハンドル(図5、項目1)をいっぱいまで引き出します。ハンドルの両側にあるスナップボタン(2)を押し、ハンドルを収納します。



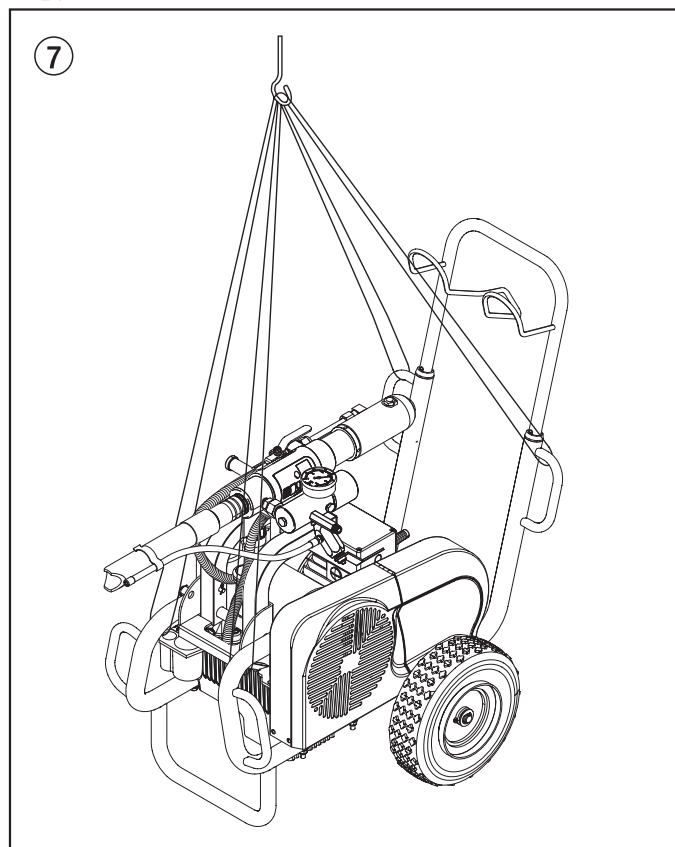
3.7 台車による運搬

塗料供給ポンプ(3)用旋回機構(2)のロックピン(図6、項目1)を押し、水平位置まで回転させます。ロックピンがロックされていることを確かめてください。



3.8 クレーンによる運搬

クレーンストラップまたはロープによるつり下げ位置については、図7を参照してください。



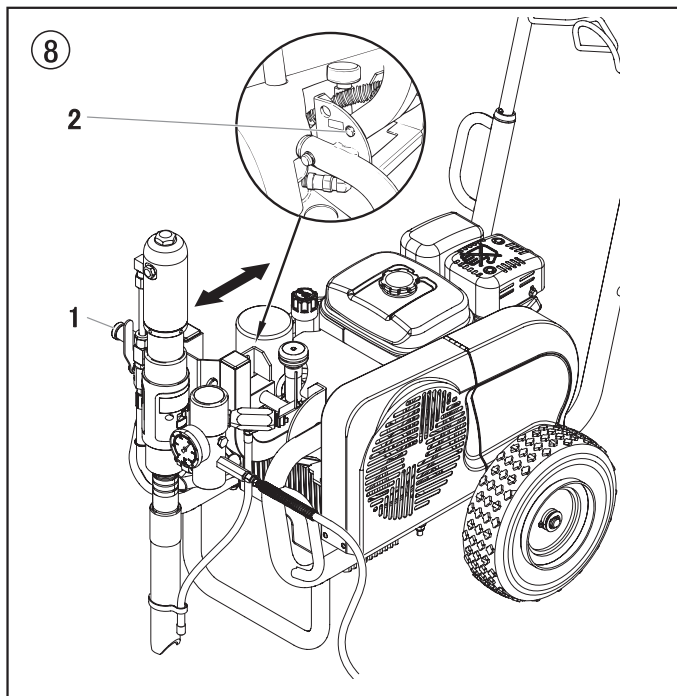
4. 運転の開始

4.1 塗料供給ポンプ位置を変更する



旋回機構の可動部によって指や足を挟んでしまう可能性がありますので、ご注意ください。

1. ハンドル(図8、項目1)を片手で握ります。
2. もう一方の手で止めピンを(2)押しします。
3. ご希望の位置に、止めピン(2)がロックされるまで、塗料供給ポンプを上下に回転させます。

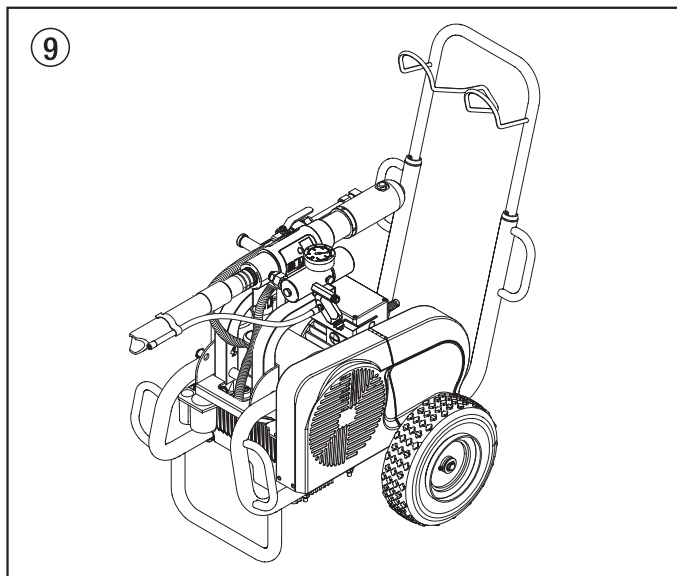


1. 運搬位置(図9)

塗料供給ポンプが水平位置にセットされている時以外は装置を運搬しないでください。

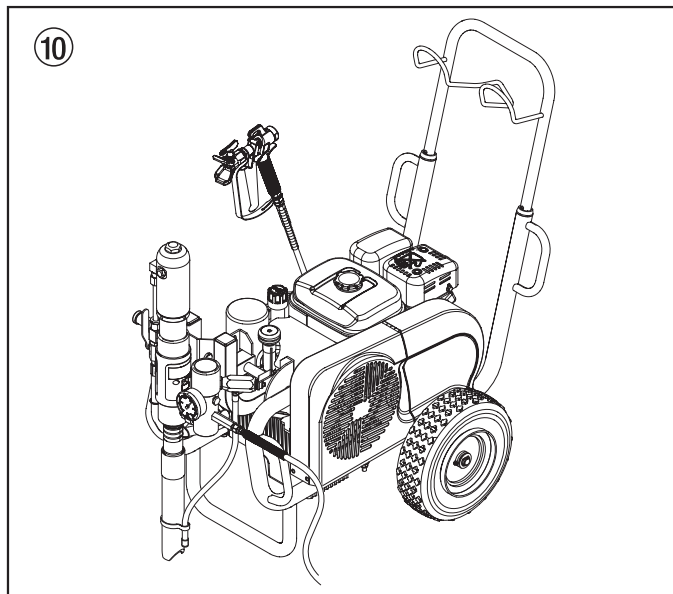
塗料供給ポンプを水平位置まで回転させると、ポンプを塗料容器から取り外すことができます。

ロックピンがロックされていることを確かめてください。



2. 操作位置I(図10)

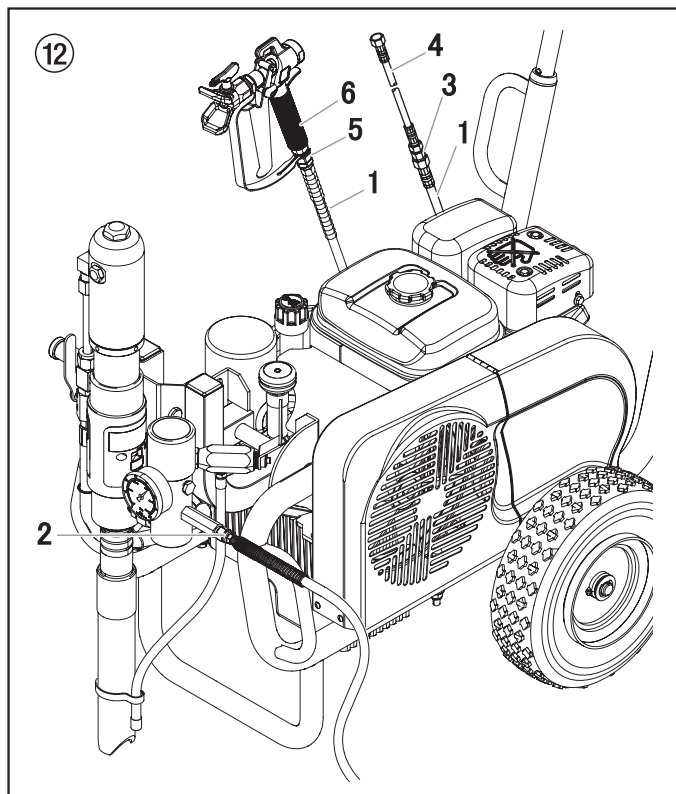
塗料供給ポンプを垂直位置まで回転させると、塗料供給ポンプを塗料容器に浸すことができます。



4.2 高圧ホース、スプレーガン、潤滑油

1. ダイレクト仕様の場合、 $\phi 9 \times 30\text{m}$ を本体とガンに接続してください。
2. ホッパー仕様の場合、 $\phi 19 \times 20\text{m}$ を本体側に取り付け、 $\phi 12.7$ のホースをG3/4M x G1/2Mのジョイントで接続し、 $\phi 9 \times 2\text{m}$ の手元ホースをG1/2 x G3/8のジョイントで接続し、エアレスガンを取り付けます。玉吹きをされる場合、玉吹きアタッチメントをエアレスガンに接続し、エアーホースを取付け、塗料ホースにテーピングしてください。

注意: 高圧がかかりますので、各部ジョイントはしっかりと締めつけてください。

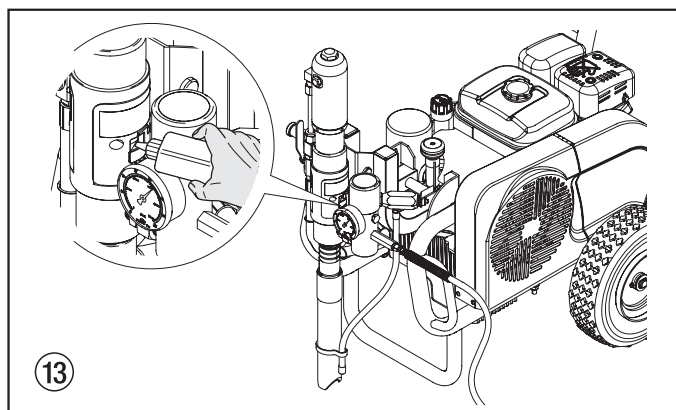


6. 潤滑油を補充します。(図13) 潤滑油を補充しすぎないでください。潤滑油が塗料容器に流入しないように気を付けてください。



注意 潤滑油によって、パッキンの摩耗や破損の進行が抑えられます。

注意



4.3 ガソリンエンジン

1. 燃料タンクにガソリンを入れます。
注意: ・使用ガソリンは「無鉛」(レギュラーガソリン)

タンク容量 HC950 (GX160 : 3.6ℓ)

HC970 (GX270 : 6.0ℓ)

・給油口に「フィルタ」が取付けてあります。

異物の混入を防ぎます。常に洗浄しておいて下さい。
(水など液体は除去できません。)

2. エンジンオイルの点検をします。

注意: ・規定量入ってなかったり、本体を傾けて使用すると安全装置(オイルアラート)が作動して始動しなかったり、停止します。

オイル容量 HC950 (GX160 : 0.6ℓ)

HC970 (GX270 : 1.1ℓ)

・劣化したオイルは安全装置(オイルアラート)が作動したり、エンジンの故障の原因となります。定期交換して下さい。(エンジンの取扱説明書を参照して下さい)

4.4 初回始動時に予備液を流す

1. ダイレクトサクション型…ロックピン(図14、項目1)を押して、塗料供給ポンプを適切な洗浄剤を入れた容器まで回転させます。ホッパー型…ホッパーと吸い込み口を吸入ホースで接続し、ホッパーに適切な洗浄剤を入れます。
2. 油圧ポンプの圧力調節ノブ(2)を、ノブが止まるまで左(減圧)に回します。注意: 戻しておかないとエンジンの始動時にポンプが作動することがあります。
3. リリーフバルブ(3)をいっぱいまで反時計回り(循環)に回します。
4. エンジンを始動させます。
注意: ガスエンジンを始動させる場合は、エンジンの取扱説明書を参照してください。
5. 塗料供給ポンプの油圧切換バルブ(6)を垂直位置(開)にします。油圧オイルが塗料供給ポンプの油圧モーターに流れ込みます。
6. 洗浄剤が戻り用ホースから排出されるまで、圧力調節つまみ(2)を右(加圧)に回します。
7. 安全弁ハンドル(3)を時計回り(スプレー)にいっぱいまで回します。
8. スプレーガンの引き金を引きます。
9. 洗浄剤を装置からふたのない回収容器に噴霧します。

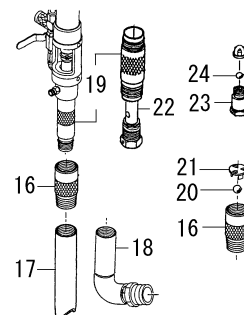
注意: 吸入しない時には、弁ボールの固着が考えられます。固着解除の作業を行う場合は、エンジンを停止して、スプレーガン/リリーフバルブから残圧を抜いてください。

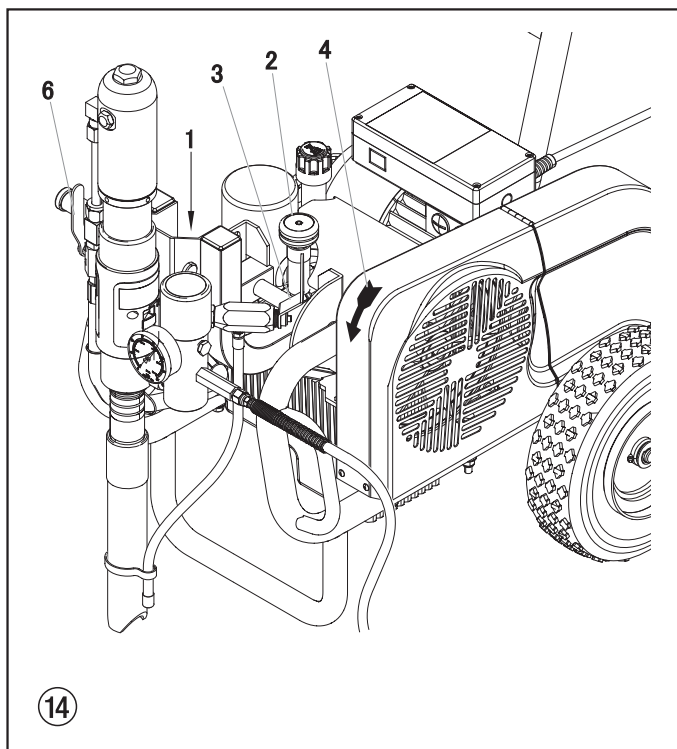
解除方法

・吸入弁…吸入弁ハウジング(16)から、ダイレクトサクション(17)もしくはカムロック(18)を外し、吸入弁ボール(20)を丸棒で押します。塗料等で解除できない場合は、吸入弁ハウジング(16)をシリンダー(19)から外し吸入弁ガイド(21)を外します(ねじ止めになっていますので、注意して下さい)。弁ボール(20)を取り出し、洗浄して、組込んで下さい。

・吐出弁…吸入弁ハウジング(16)を外し、吐出弁ハウジング(23)に丸棒を入れ、弁ボール(24)を押します。

注意: ピストン部(22)から吐出弁ガイド(23)を外すのは、指定サービスショップに修理依頼して下さい。





4.5 塗料を使用して、装置を操作する



装置が、非導電性の表面(木の床など)に置かれて
いる場合は、装置を接地ケーブルで接地します。

1. ダイレクトサクシオン型・・・ロックピン(図14、項目1)を押し、塗料供給ポンプを塗料容器まで回転させます。ホッパー型・・・ホッパーと吸い込み口を吸入ホースで接続し、ホッパーに塗料を入れます。
2. 油圧ポンプの圧力調節つまみ(2)を、つまみが止まるまで左(減圧)に回します。
3. リリーフバルブ(3)を、いっぱいまで反時計回り(循環)に回します。
4. エンジンを始動させます。
注意 ガソリンエンジンを始動させる場合は、エンジンの取扱説明書を参照してください。
5. 塗料供給ポンプの油圧切換バルブ(6)を垂直位置(開)にします。油圧オイルが塗料供給ポンプの油圧モーターに流れ込みます。
6. 塗料が戻り用ホースから排出されるまで、圧力調節ノブ(2)を右(加圧)に回します。
7. リリーフバルブ(3)を時計回り(スプレー)にいっぱいまで回します。
8. スプレーガンの引き金を引いてから、圧力調節つまみ(2)でご希望の動作圧力に設定してください。
9. 装置スプレーの準備が完了しました。

5. スプレー技術

スプレー塗装工程中は、スプレーガンを均等に動かしてください。そうしないと、スプレーパターンが不均一になります。スプレーガンは手首ではなく腕を使って動かしてください。スプレーガンと被塗装物間の平行距離は約30cmに保ってください。スプレーパターンの外縁がはつきりしすぎないように塗装してください。次層の重ね塗りを容易にするため、スプレーエッジはぼかす必要があります。塗料ミストを最小限に抑えるために、スプレーガンは常に被塗装面に対して直角に向け、平行に動かしてください。



エッジがはつきりしすぎる場合、または、スプレーパターンが縞状になる場合は、動作圧力を上げるか、塗料を希釈します。

6. 高圧塗料ホースの取扱い



高圧ホースの漏れによってけがを負う危険があります。高圧ホースに損傷がある場合はすぐに交換してください。高圧ホースに欠陥がある場合、絶対にご自分で修理しないでください！

高圧ホースは注意して取り扱う必要があります。ホースが極端に曲がったり折れたりしないようにしてください。

高圧ホースの上に乗りに上げないようにしてください。とがった物や角に当たらないように保護してください。

装置を移動するときは、高圧ホースを引っ張らないでください。

高圧ホースがねじれないことを確かめてください。



足場での作業に高圧ホースを使用する場合は、常に足場の外側に沿ってホースを引くのが一番良い方法です。高圧ホースが古い程、損傷が生じるリスクが高くなります。毎回使用前に点検して、摩耗や損傷があった場合はすぐに交換してください。

7. 作業の中断

1. 塗料供給ポンプの油圧切換バルブを水平位置(閉)に合わせてください。塗料供給ポンプの油圧モーターへ流れ込む油圧オイルの流れが遮断されます。
2. リリーフハンドル(3)を、いっぱいまで反時計回り(循環)に回します。
3. ガソリンエンジンの回転数を低速にして、エンジンスイッチをオフにします。
4. スプレーガンの引き金を引き、高圧ホースとスプレーガンの圧力を抜いてください。
5. スプレーガンの安全ロックを必ずかけてください。スプレーガンの取扱説明書を参照して下さい。
6. ノズルチップが乾かないよう、養生テープを貼るか、洗浄剤に浸すことで、次の作業がスムーズに行えます。
7. サクシオンチューブを塗料に浸したままにするか、またはサクシオンチューブを洗浄剤に浸します。



注意

速乾性塗料または2液型塗料を使用する場合、必ず処理時間内に装置を適切な洗浄剤で洗浄してください。

8. 作業の終了と洗浄

1. 作業が終了したら「エアレスガン」、「玉吹きアタッチメント」からノズルチップを外して下さい。
2. ダイレクトサクションタイプ・・・塗料ポンプを横にして下さい。塗料の入った容器から洗浄液の入った容器を変え、塗料ポンプを縦にします。ホッパータイプ・・・残留塗料が多い場合は、汲み出し、洗浄液を入れ内部をブラシ等で洗って下さい。
3. 「塗料容器」「ホッパー」内に、「リターンホース」、「エアレスガン・引いた状態」を入れ、塗料ポンプを作動させて下さい。注意：低い圧力で行って下さい。(3分間位)
4. 一度汚れた洗浄液を排出し、再度新しい洗浄液に交換し③の要領を2～3回繰り返して下さい。最後にノズルチップを付けて洗浄して下さい。

注意：・洗浄の為「塗料ポンプ」を長時間作動させると、パッキンの消耗を早めることになります。
 ・ホッパータイプは別売りの「洗浄セットP/N 2510305」を使用すると塗料ポンプを作動させずに洗浄できます。
 ・「吸入弁ハウジング」を外し、吸入弁を洗浄させて下さい。
 ・吸入ホースの中は、付属の「丸ブラシ」で洗浄して下さい。



注意

・塗料や洗浄で汚れた液をそのまま排水口などに捨てないで下さい。
 ・地方自治体等の処理方法に従って廃棄して下さい。
 ・処理方法によっては処罰される恐れがあります。

5. 塗料(手元)ホース、エアレスガン内部の水抜きをして下さい。(残圧を抜いてください)
6. エンジンスイッチをオフにしてください。

注意：翌日も作業する場合は、「塗料ポンプ」、「塗料ホース」、「エアレスガン」の洗浄は行わず、圧力を抜いて、ノズルチップが乾かないようにして置いて下さい。

8.1 装置の外側を洗浄する



ガソリンユニット - ガソリンエンジンのスイッチをオフにし、冷まします。

装置には、絶対に高圧洗浄機または高圧蒸気洗浄機で水などを吹き付けしないでください。



注意

高圧塗料ホースを溶剤に浸さないでください。ホースの外側を拭く場合は、ぬれた布以外使用しないでください。

装置は、適切な洗浄剤を含ませた布で拭き取ってください。

8.2 高圧フィルターの洗浄

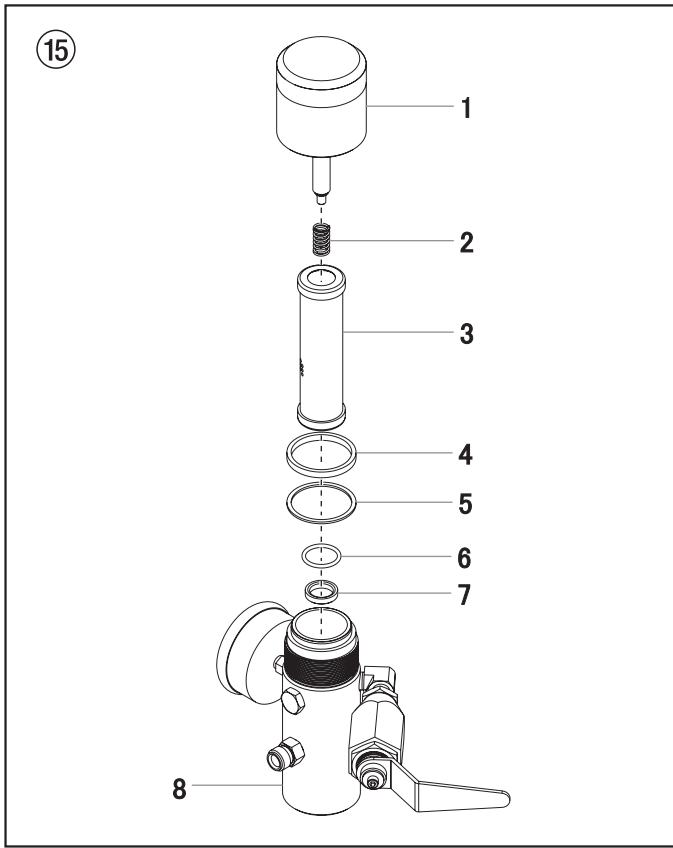
フィルターカートリッジは定期的に洗浄してください。高圧フィルターの汚れや詰まりは、スプレーパターンの不良やチップの詰まりにつながる可能性があります。

分解

1. 塗料供給ポンプの油圧ボール弁を水平位置(閉)に合わせてください。
塗料供給ポンプの油圧モーターへ流れ込む油圧オイルの流れが遮断されます。
2. 安全弁ハンドルを、いっぱいまで反時計回り(循環)に回します。
3. ガソリンエンジンのスイッチをオフにします。
4. ハウジングカバーを回して取り外します(図15、項目1)。
5. フィルターカートリッジ(3)をハウジング(8)から引き抜きます。
6. 加圧バネ(2)とフィルターカートリッジ(3)を適切な洗浄剤で洗浄し、ハウジングの内部(8)とハウジングカバー(1)を掃除します。
7. フィルターカートリッジ(3)内のボールが摩耗していないか確認し、必要であれば、フィルターカートリッジを交換します。
8. フィルターカートリッジ(3)内のボールが完全に摩耗している場合は、Oリング(6)とバルブシート(7)を取り外します。必要であれば、摩耗したバルブシートを交換します。
9. 取り外した後は、必ずOリング(6)を交換してください。
10. ハウジングカバー(1)から加圧バネ(2)を取り外します。加圧バネの長さを測り、19mmより短い場合は交換してください。

組み立て

1. ボールシート面を上に向けてバルブシート(7)をハウジング(8)に取り付けます。
2. Oリング(6)をハウジング(8)に取り付けます。
3. フィルターカートリッジ(3)を差し込みます。
4. 薄いシール(5)をハウジング(8)のねじ込み部にセットします。
5. 厚いシールを(4)薄いシール(5)に重ねてセットします。
6. 加圧バネ(2)をハウジングカバーピン(2)にはめます。
7. 付属のベルトレンチで締めつけてください。



9. トラブルシューティング

9.1 ガソリンエンジン

障害の種類	考えられる原因	対策
A. ガソリンエンジンが始動しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガソリンが切れている 2. オン/オフスイッチがオフになっている 3. 燃料コックが閉じている 4. オイル量の不足(オイルアラート作動) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガソリンタンクを満タンにしてください。 2. スwitchをオンに切り替えてください。 3. 燃料コックを開けてください。 4. ページ参照。
B. エンジンは始動するが、高速回転時や、2~3分間で停止する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 燃料に水などが混入 2. キャブレターの詰まり 3. オイルアラート作動 4. エンジンの回転数が低い 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 洗浄(除去) 2. 分解洗浄 3. 点検・修理 4. 最大回転数(3700mm⁻¹)

9.2 塗料供給ポンプ

障害の種類	考えられる原因	対策
A. 塗料ポンプが作動しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 油圧ポンプのオイル量の不足 2. 切換バルブが横(水平)になっている 3. 圧力調整ノブが回されていない 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 補給 2. 縦(垂直)にする 3. 右に回す
B. 塗料ポンプは作動するがエア抜きできない	<ol style="list-style-type: none"> 1. リリーフバルブが閉まっている 2. 塗料ポンプに「吸入力」がない。吸入弁・吐出弁・逆止弁の固着、又は摩耗 3. ホッパー型でカムロックが正常に固定されていない 4. ダイレクトサクシオンがゆるんでいる 5. ピストン又は、Vパッキンの摩耗 6. 塗料通路の締めり 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 左に回して開ける 2. 分解、点検、洗浄、交換 3. 正しく取り付ける 4. シール剤をつけて締め付ける 5. 交換 6. 分解、洗浄、あるいは交換
C. エア抜きはできるが、圧力が上昇しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ピストン又はVパッキンの摩耗 2. リリーフバルブが開いている、又は漏れ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 交換 2. 閉じる(右に回す) 分解点検、又は交換
D. 圧力は上昇するがエアレスガンの引き金を引くと圧力低下が著しい	<ol style="list-style-type: none"> 1. ノズルチップ口径が大きい、又は摩耗 2. 塗料粘度が高い、又は攪拌不足 3. 塗料ホースの内径が細い 4. 吸入・吐出・逆止弁の摩耗 5. ピストン、Vパッキンの摩耗 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小さいサイズと交換、又は新品と交換 2. 希釈、充分な攪拌 3. 粘度が高い程、内径の大きいものを選ぶ 4. 交換 5. 交換
F. 吐出圧力が安定しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 吸入、吐出、逆止弁の摩耗 2. ピストン、Vパッキンの摩耗 3. 攪拌不良による塗料に空気が混入 4. 塗料粘度が高い、又は攪拌が不充分 5. 油圧ポンプのオイル量不足 6. エンジン回転数不良 7. 塗料ホースの内径が細く長い 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 交換 2. 交換 3. 塗料を変え慎重に攪拌 4. 希釈及び充分な攪拌 5. 補給 6. 点検・調整 7. ホースを長くしたい場合は内径を太くする

10. 保守点検

10.1 一般的な保守点検

装置は、年に1回Wagner Serviceで保守点検を受ける必要があります。

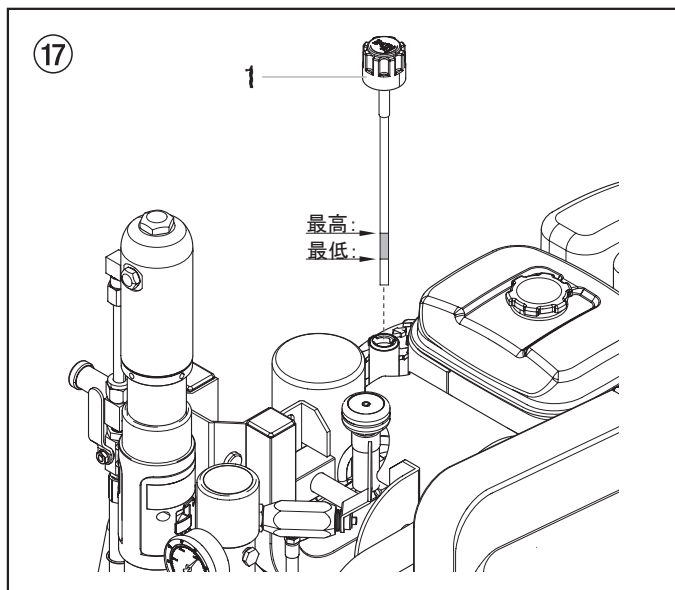
1. ガソリンエンジンの保守点検については、エンジンの取扱説明書を参照してください。
2. 高圧ホースが破損していないか確認してください。
3. 油圧オイルタンクのオイル量を確認してください。
4. 必要であれば、オイルを交換してください。

10.2 油圧オイルタンクのオイル量の確認



油圧オイルタンクのオイル量を毎日確認してください。

1. オイル量測定棒(図17、項目1)を左に回し、測定棒を引き抜きます。
2. オイル量は、オイル量測定棒のマーキング(矢印を参照)によって、目で確認できます。
3. 必要であれば、オイルを補充します。オイル等級については、第10.3章のオイル交換に関するセクションを参照してください。



10.3 油圧オイルタンクのオイルとオイルフィルターの交換

オイルおよびオイルフィルターの交換は12ヶ月ごとに1回行ってください。



環境に対する危険

廃オイルは下水管や土壌に流さないでください。国・地方自治体の法規・規則に従ってください。



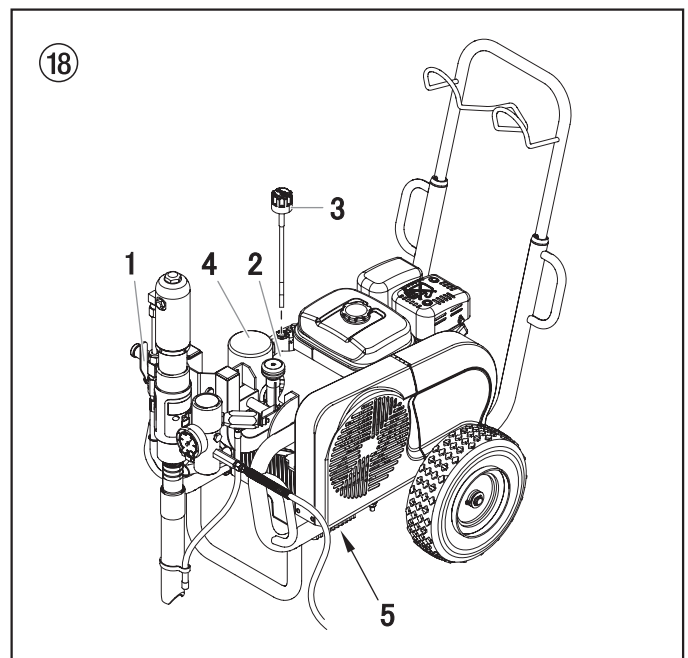
オイル交換は、装置が運転後まだ温かい間に行ってください。

1. ガソリンエンジンのスイッチをオフにします。
2. 塗料供給ポンプの油圧切換バルブ(図18、項目1)を垂直位置(開)にします。
3. 油圧オイルポンプカバー(2)のネジを取り外して、カバーを外します。
4. オイル量測定棒(3)を左に回し、引き抜きます。
5. ベルトレンチを使ってオイルフィルター(4)を回して取り外し、交換します。
6. 油圧オイルタンクの下シーリングネジ(5)を取り外します。廃オイルを排出します。
7. シーリングネジを油圧オイルタンクの元の位置に取り付けます。
8. ESSO ISO 32油圧オイル4.7リットルを補充します。



オイルが補充されると、空気が油圧システムに入り込む可能性があります。このため、システムから空気を抜く必要があります。

9. 油圧システムから空気が自動的に排出されるように、低圧で5分以上装置を動作させます。



10.4 高圧塗料ホース

特に継手の移行部分など、高圧塗料ホースに凹みや膨らみがないか目視で確認します。ユニオンナットを自由に回せる必要があります。



高圧塗料ホースが古い程、損傷が生じるリスクが高くなります。毎日点検して、摩耗・損傷がある場合は、すぐに交換してください。

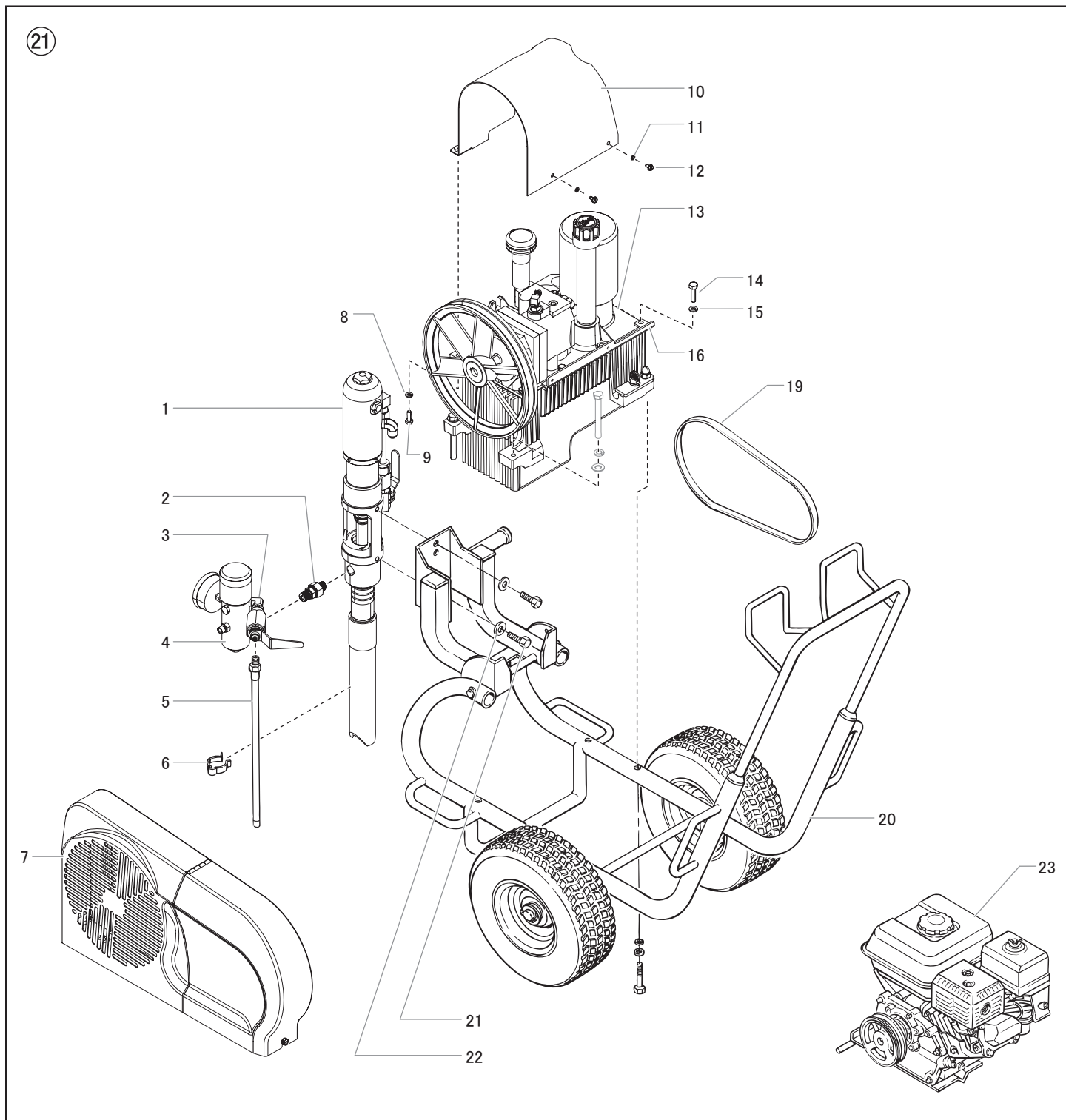
10.5 保管方法

- エンジンについては、別冊の「エンジン取扱説明書」に基づいて行って下さい。
- 長期間使用しない場合は、塗料通路に「サビ止め油」などを通して置いて下さい。
- 「湿気」や「ホコリ」のない場所に保管して下さい。

部品リスト

全体図

HC 950 · HC 970



項目	HC950	HC970	名称	個数
1*	0528013	0528017	モーター／ポンプ セット	1
2	0556101	0556101	ユニオンジョイント	1
3*	0555645	0555645	リターンバルブセット	1
4*	-----	-----	フィルター セット	1
5	0528034	0528034	ブリードホース	1
6	0528095	0528095	ホースクランプ	1
7*	0528605A	0528605A	ベルトガード セット	1
8	9821503	9821503	平ワッシャー	1
9	9800312	9800312	ねじ	1
10	0528333A	0528333A	ハイドロリック カバー	1
11	770-879	770-879	ロックワッシャー	2
12	862-501	862-501	ねじ	2
13*	-----	-----	油圧ポンプ部	1
14	0349302	0349302	六角ボルト	2
15	0509772	0509772	ロックワッシャー	1
16	0528235	0528235	ブラケット	1
19	0528344	0349538	V-ベルト コンバートキット、DC 電気 400V	1
	449-125**	0290510**	V-ベルト コンバートキット、ガスモーター	1
20*	451-070	451-070	カート セット	1
21	0349480	0349480	六角ボルト	2
22	0349362	0349362	スプリングワッシャー	2
23*	0290614A**	-----	コンバートキット、4.8 Hp, Honda, ガソリン	1
	-----	0290456A**	コンバートキット、8.5 Hp, Honda, ガソリン	1

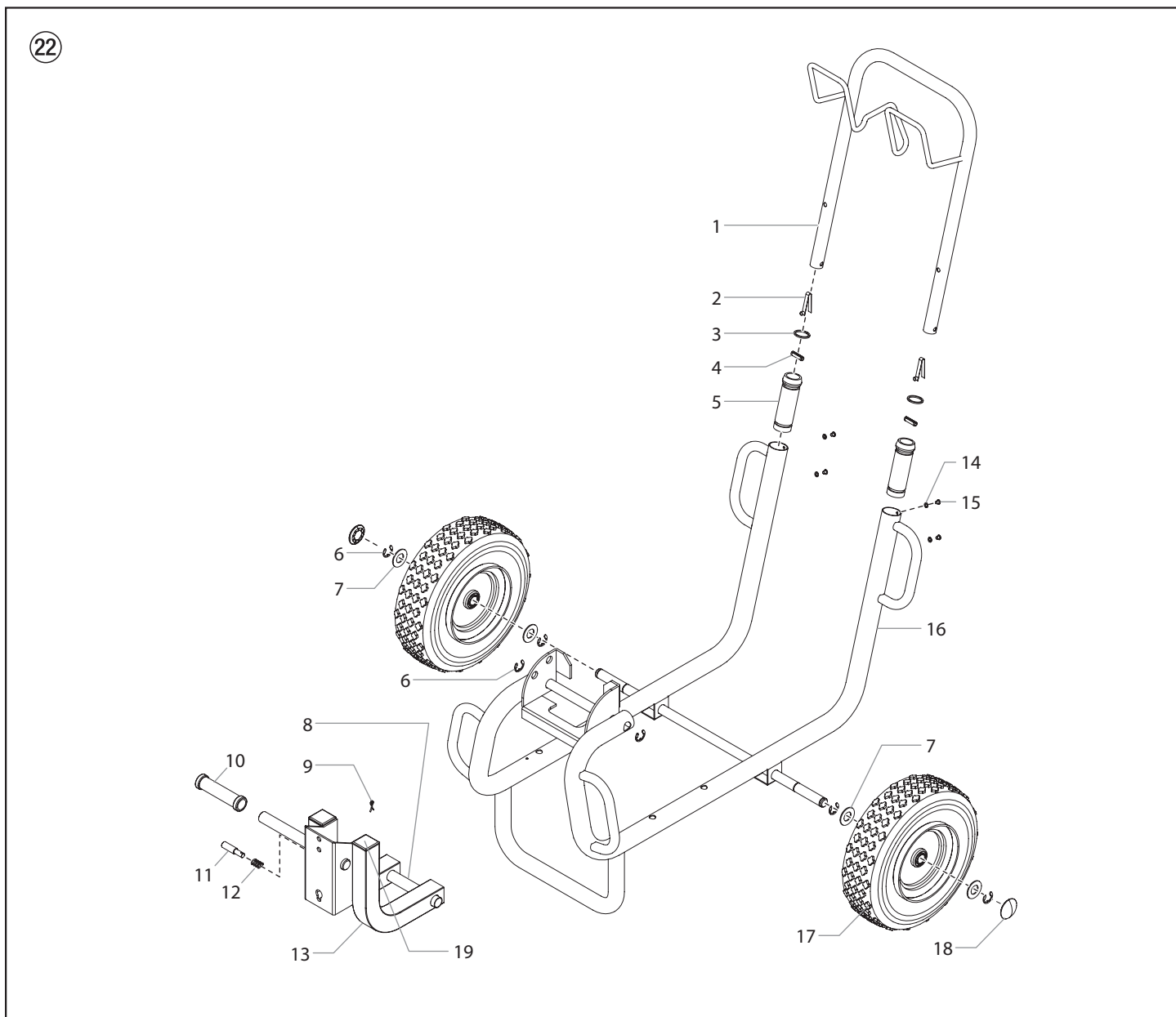
* 別リスト参照

** オプション品

部品リスト

カート

HC 950 • HC 970

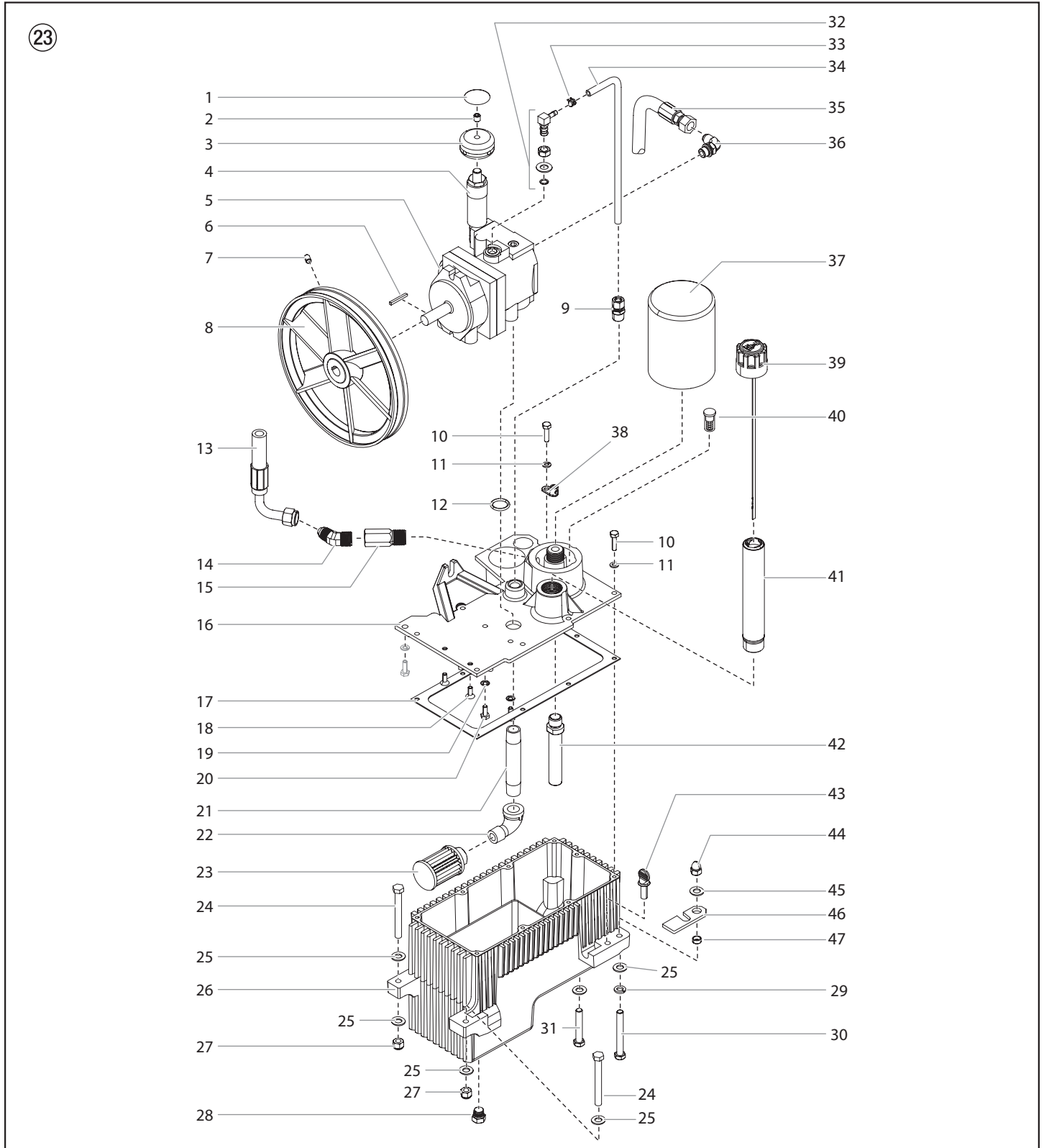


項目	HC950	HC970	名称	個数
1	0528089	0528089	トロリーハンドル	1
2	9841504	9841504	スナップ	2
3	0295609	0295609	ワッシャー	2
4	0295610	0295610	ピン	2
5	0295607	0295 607	ガイドブッシュ	2
6	0528088	0528088	ストップリング	2
7	0295687	0295687	ワッシャー	4
8	0528087	0528087	アーム回転軸	1
9	0509239	0509239	スプリングピン	1
10	0349324	0349324	ハンドル	1
11	0349327	0349327	ストップピン	1
12	0349328	0349328	スプリング	1
13	0528086	0528086	アーム	1
14	0295606	0295606	内歯ワッシャー	4
15	0295608	0295608	鍋小ねじ	1
16	0528341A	0528341A	フレーム	1
17	0509390	0509390	タイヤ	2
18	0509625	0509625	ハブキャップ	2
19	0528085	0528085	エンドキャップ	2
表示なし				
	0528084	0528084	カートハンドル スペーサー	1

部品リスト

油圧ポンプ部

HC 950・HC 970

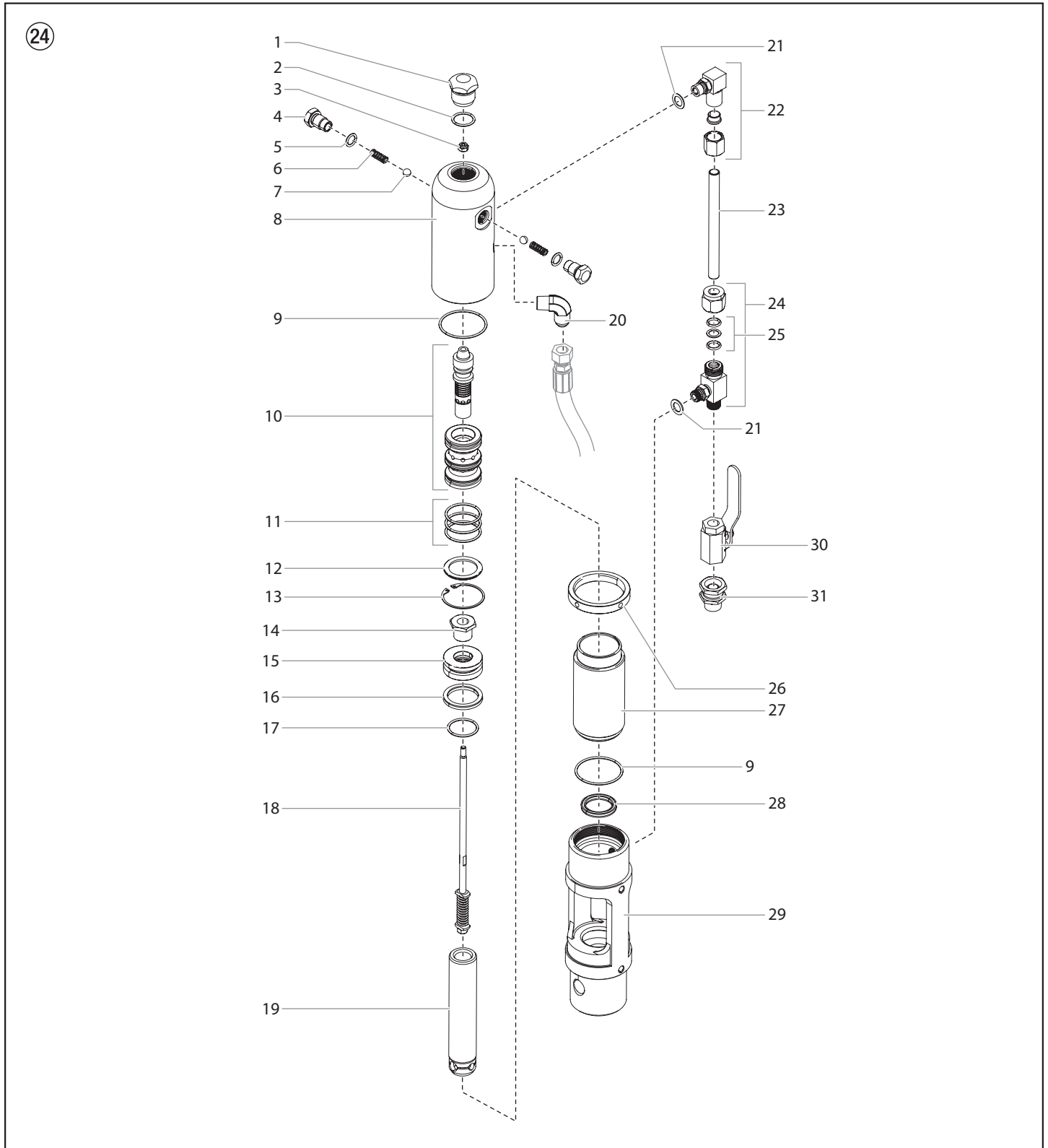


項目	HC950	HC970	名称	個数
1	0349616	0349616	ノブ	1
2	0349492	0349492	六角穴付止めねじ	1
3	0349341	0349341	圧力調整ノブ	1
4	0555969	0555969	コントローラ	1
5	0349455	0349455	油圧ポンプ	1
6	0349456	0349456	キー	1
7	0349345	0349345	六角穴付止めねじ	1
8	0349483	0349483	プリー／ファン セット	1
9	0349339	0349339	ホースジョイント	1
10	0349302	0349302	六角ボルト	8
11	0349303	0349303	ロックワッシャー	10
12	0349360	0349360	Oリング	1
13	0349356	0349356	リターンホース	1
14	0349465	0349465	エルボフィッティング	1
15	0349463	0349463	ソケット	1
16	0290770	0290770	タンクカバー	1
17	0349350	0349350	タンクガasket	1
18	0349348	0349348	六角ボルト	2
19	0349347	0349347	ワッシャー	2
20	0349349	0349349	六角ボルト	2
21	0528171	0528171	ニップル	1
22	0349352	0349352	ストリートエルボ	1
23	0349353	0349353	フィルター	1
24	0349375	0349375	六角ボルト	2
25	0254426	0254426	スプリングワッシャー	6
26	449-718A	449-718A	オイルタンク	1
27	0349458	0349458	回り止め付六角ナット	2
28	0349484	0349484	排油栓	1
29	0509292	0509292	ロックワッシャー	4
30	0349363	0349363	六角ボルト	1
31	0509421	0509421	六角ボルト	1
32	0349340	0349340	エルボ竹の子ジョイント	1
33	0349338	0349338	クリップ	1
34	0349337	0349337	チューブ	1
35	0349358	0349358	高圧ホース	1
36	0349487	0349487	エルボフィッティング	1
37	0349468	0349468	オイルフィルター	1
38	0349361	0349361	アース端子	1
39	0349614	0349614	オイルゲージ	1
40	0349373	0349373	バイパスバルブ	1
41	0349467	0349467	オイル注入口パイプ	1
42	0528164A	0528164A	チューブ	1
43	0349368	0349368	つまみ付ボルト	1
44	0349369	0349369	袋ナット	1
45	0509285	0509285	ワッシャー	1
46	0349370	0349370	止め板	1
47	0349371	0349371	スペーサー	1

部品リスト

油圧モーター

HC 950・HC 970

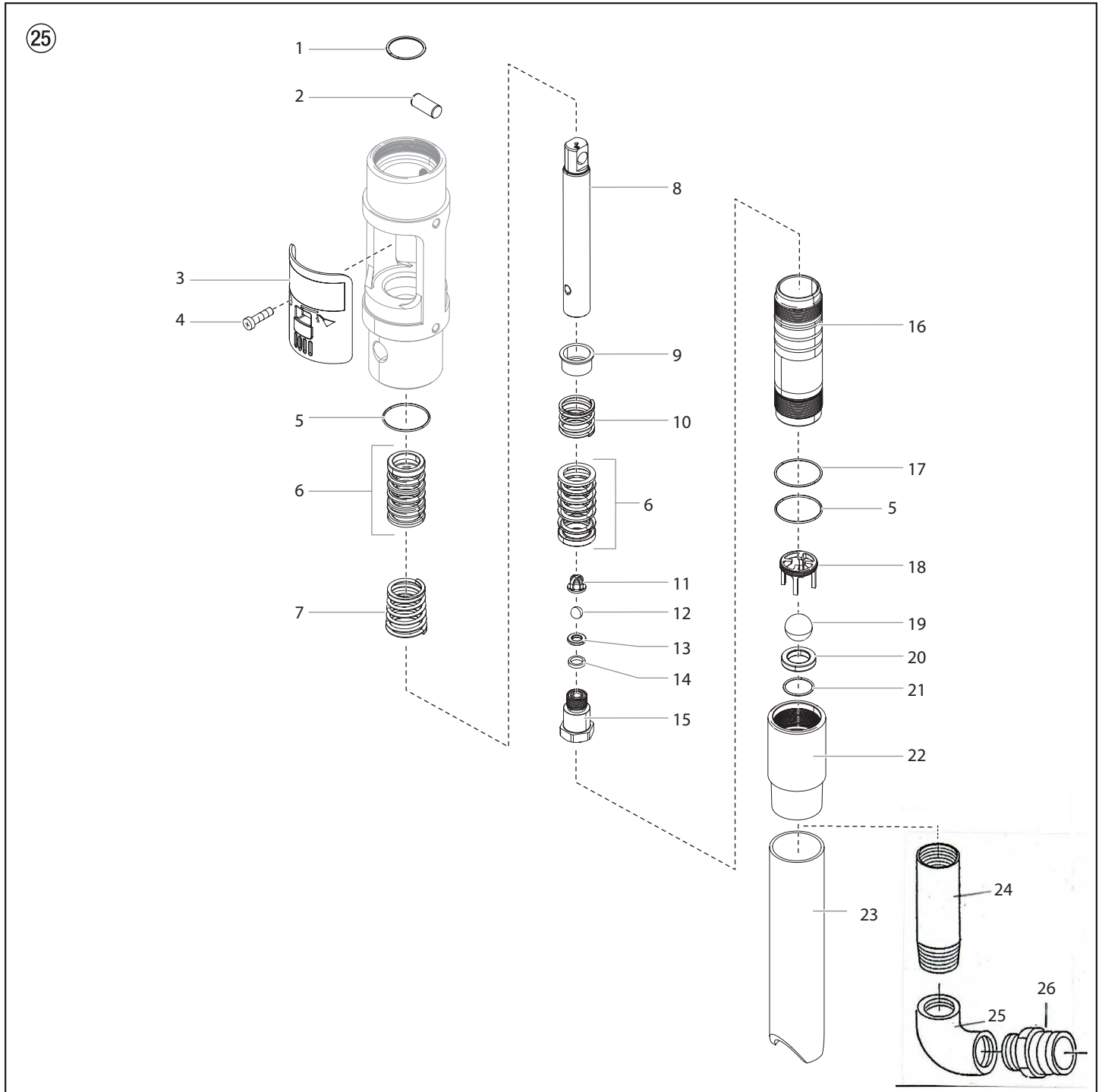


項目	HC950	HC970	名称	個数
1	0349384	0349384	プラグ	1
2	0349385	0349385	Oリング	1
3	0349386	0349386	ロックナット	1
4	0349378	0349378	ガイドブッシュ	2
5	0349379	0349379	Oリング	2
6	0349380	0349380	スプリング	2
7	0349381	0349381	ボール	2
8	0349388	0349388	シリンダーヘッド	1
9	0349389	0349389	Oリング	2
10	0349382	0349382	切替バルブ	1
11	0349383	0349383	Oリング Assy	3
12	0349390	0349390	スペーサー	1
13	0349391	0349391	スナップリング	1
14	0349393	0349393	ガイドナット	1
15	0349394	0349394	ピストンリング	1
16	0349395	0349395	ピストンパッキン	1
17	0349396	0349396	Oリング	1
18	0349627	0349627	バルブシステム	1
19	0349633	0349633	ピストンロッド	1
20	0349516	0349516	エルボ	1
21	0555480	0555480	Oリング	2
22	0349392	0349392	エルボフィッティング	1
23	0349629	0349629	パイプ	1
24	0555648	0555648	ティー	1
25	0349405	0349405	シールキット	1
26	0349399	0349399	リングナット	1
27	0349626	0349400	シリンダー	1
28	0349401	0349401	ピストンロッドパッキン	1
29	0555647	0555680	モーター／ポンプ部	1
30	0509418	0509418	ボールバルブ	1
31	0528096	0528096	アダプター	1
	0349703	0349703	油圧ポンプサービスセット (項目 2, 3, 5-7, 9, 11, 16, 17, 28)	

部品リスト

塗料ポンプ

HC950・HC 970



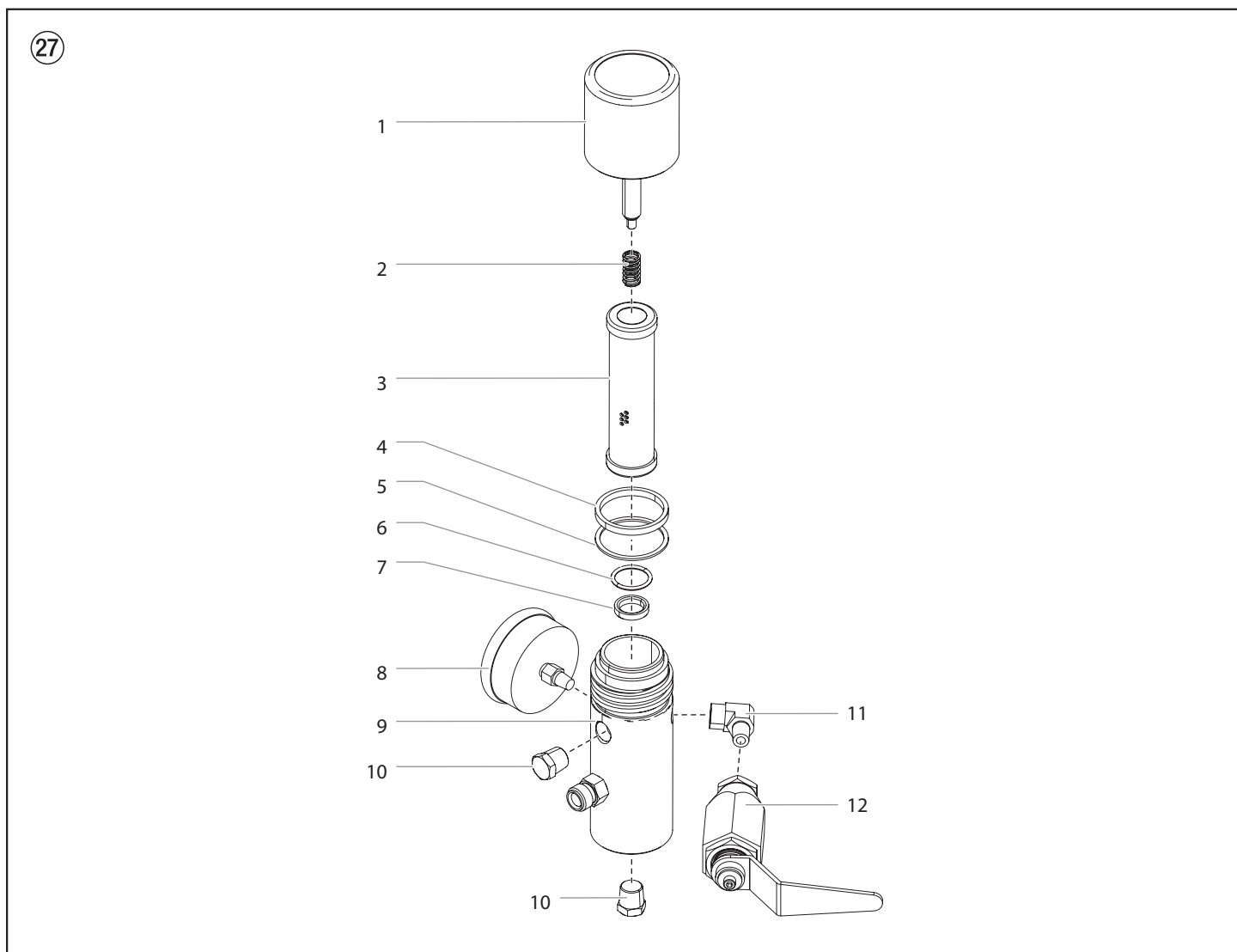
項目	HC950	HC970	名称	個数
1	0349406	0349406	スプリングリング	1
2	0349407	0349407	ピン	1
3	0349473	0349473	カバー	2
4	0349472	0349472	十字穴付タッピンネジ	2
5	0349408	0349408	Oリング	2
6	0349409	0349409	パッキンセット レザ-/UHMWPE/スチール	2
7	0349410	0349410	円すいスプリング	2
8	0349596	0349411	ピストン	1
9	0349412	0349412	スプリングガイド	1
10	0349413	0349413	スプリング	1
11	0349622	0349622	吐出弁ガイド	1
12	0509710	0509710	吐出弁ボール	1
13	0555668	0555668	吐出弁シート	1
14	0555669	0555669	シールパッキン	1
15	0555670	0555670	吐出弁ハウジング	1
16	0349606	0349416	シリンダー	1
17	0349417	0349417	Oリング・黒	1
18	0555672	0555672	吸入弁ガイド	1
19	0509707	0509707	弁ボール	1
20	0509623	0509623	吸入弁シート	1
21	0509708	0509708	Oリング・白	1
22	0528011	0528011	吸入弁ハウジング	1
23	0349300	0349300	ダイレクトサクシオン	1
24	2141130	2141130	ソケット	1
25	2103390	2103390	エルボ R1 1/2 白	1
26	2520015	2520015	カムロック	1

0528102	0528103	ポンプサービスセット (項目 8, 16, 弁・パッキンサービスセット P/N 0528101)	
0528101	0528101	弁・パッキンサービスセット (項目 1, 5, 6, 12, 14, 17, 19, 21, Loctite P/N 426-051)	
0555678	0555678	吐出弁 Assy (項目11-15)	

部品リスト

フィルターセット

HC950・HC 970



項目	HC950	HC970	名称	個数
1	0290443	0290443	フィルターキャップ Assy	1
2	0349430	0349430	プレッシャースプリング	1
3	0349707	0349707	フィルターカートリッジ (0メッシュ)	1
	0349704*	0349704*	フィルターカートリッジ (50メッシュ)	1
	0349431*	0349431*	フィルターカートリッジ (5メッシュ)	1
	0349705*	0349705*	フィルターカートリッジ (100メッシュ)	1
4	0349432	0349432	パッキン 50x45x5(太)	1
5	0349433	0349433	パッキン 50x45x2(細)	1
6	0349434	0349434	Oリング [白]	1
7	0349435	0349435	シート	1
8	0528161	0528161	圧力計・立込	1
9	2141137	2141137	フィルターボディー	1
10	0349348	0349348	プラグ	1
11	0528082	0528082	エルボ	1
12**	0555645	0555645	リターンバルブセット	1
	0528608A	0528608A	フィルターセット 3/8" (項目 1-12)	
	-----	0528609A	フィルターセット1/2" (項目 1-12)	
	0349700	0349700	フィルターサービスセット (項目 2, 4-6)	

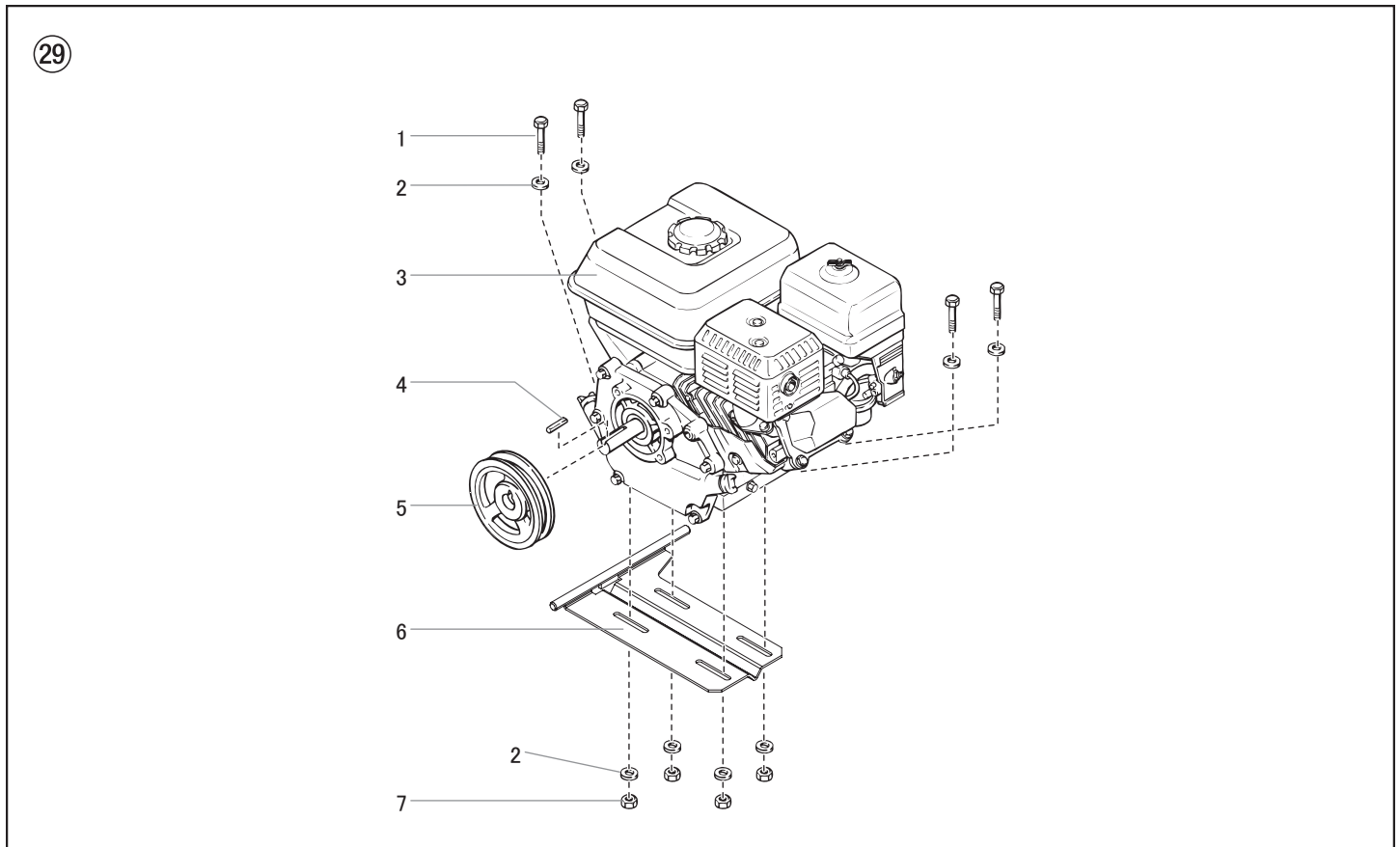
* オプション品

** 別リスト参照

部品リスト

エンジン部

HC 950 · HC 970

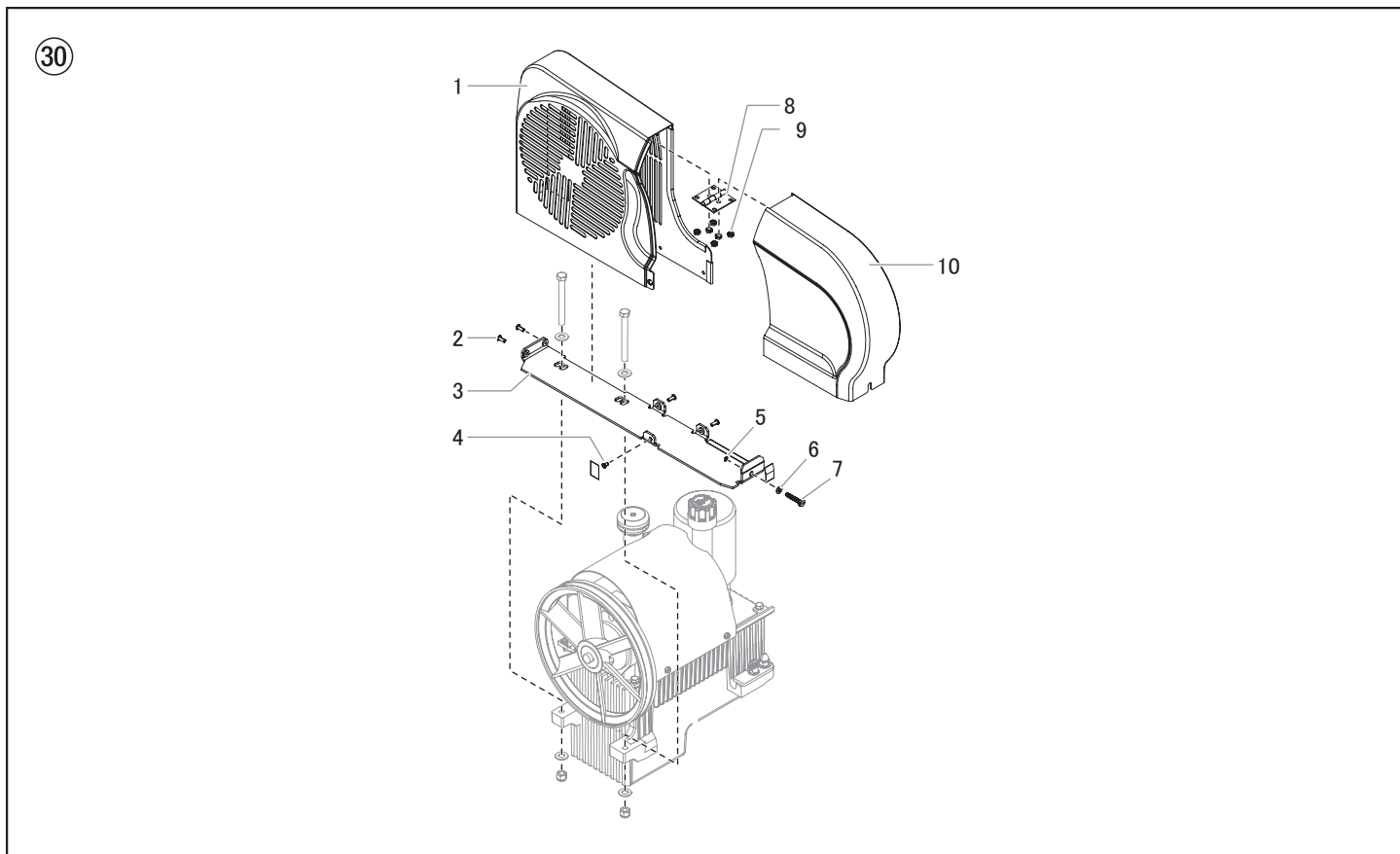


項目	HC 950	HC 970	名称	個数
1	860-552	0509294	ねじ	4
2	0349334	0509285	ワッシャー	8
3	0349589	-----	エンジン gas, 4.8 Hp, (ホンダ GX160)	1
	-----	0349421	エンジン gas, 8.5 Hp, (ホンダ GX270)	1
4	0555553	0555553	キー	1
5	449-984	0290409	プーリー	1
6	0290484	0290480	マウント板	1
7	0528205	0509293	固定ナット	4

部品リスト

ベルトカバー部

HC 950 ・ HC 970

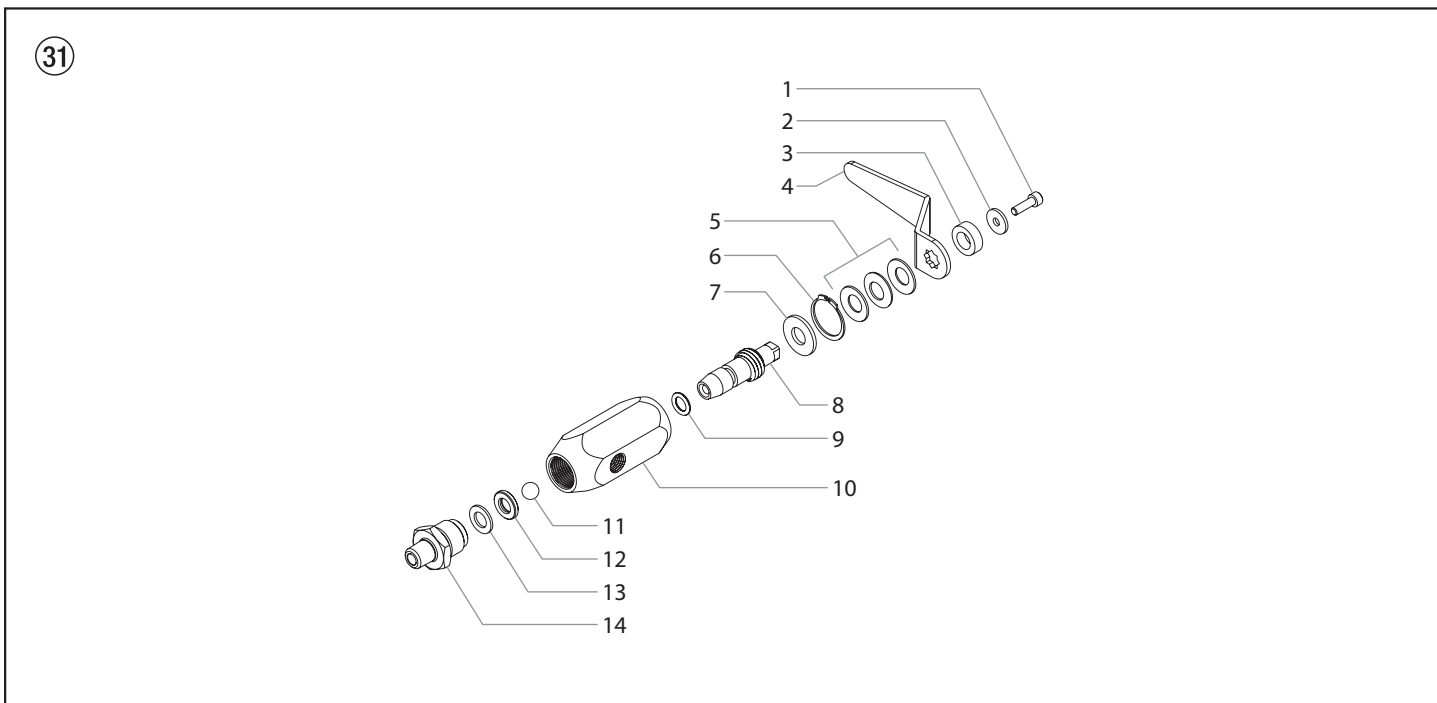


項目	HC950	HC970	名称	個数
1	0528340A	0528340A	ベルトカバー(リア部)	1
2	9805415	9805415	ねじ	4
3	0528329A	0528329A	ブラケット	1
4	9805413	9805413	ねじ	1
5	9822523	9822523	スナップリング	1
6	0349347	0349347	ワッシャー	1
7	0528345	0528345	ボルト	1
8	0290794	0290794	ヒンジ	1
9	0524318	0524318	ナット	1
10	0528326A	0528326A	ベルトカバー(フロント部)	1

部品リスト

リターンバルブ セット

HC 950・HC 970



項目	HC950	HC970	名称	個数
1	0555664	0555664	六角穴付ボルト	1
2	0555663	0555663	平ワッシャー	1
3	0295731	0295731	スペーサー	1
4	0295730	0295730	ハンドル	1
5	9820905	9820905	皿パネ	3
6	9822516	9822516	スナップリング	1
7	0294501	0294501	ストッパー	1
8	0555622	0555622	バルブシステム	1
9	9871045	9871045	Oリング	1
10	0555767	0555767	バルブハウジング	1
11	9841502	9841502	弁ボール	1
12	0555766	0555766	バルブシート	1
13	0294499	0294499	シールパッキン	1
14	0550660	0550660	リテーナ	1

製造物責任に関する重要注意事項

1990年1月1日より発効したEC規制にしたがって、すべての部品が製造業者によって製造されたものであるか、または、当該製造業者によって発売されたものである場合、および装置が適切に取り付けられ使用されている場合、当該製造業者には、製品に責任を負うことのみが義務付けられています。使用者が外部の付属品および予備部品を使用した場合、製造業者の責任は、全体的にも部分的にも、適用されません。極端な場合には、所轄当局（事業者の損害賠償保険組合および工場査察部門）によって、装置全体の使用が禁止される場合があります。すべての安全規則への遵守は、WAGNER純正の付属品および予備部品が使用された場合にのみ保証されます。

1. 保証範囲

すべてのWagner業務用塗装装置（以下、「製品」という）は、Wagnerの品質保証システムに基づいて、入念に検査・試験され、厳密なチェックを経てお客様の手に届きます。Wagnerは、認定専門店にて製品を購入された商用またはプロフェッショナルユーザーのお客様（以下、「顧客」という）に限定して、延長保証を提供しています。延長保証は、インターネットの当社サイト www.wagnergroup.com/profi-guarantee において当該顧客向けに掲載された製品を対象としています。本保証によって、販売者との購入契約に基づく、購入者の欠陥品に対する損害賠償請求および制定法上の権利が損なわれることはありません。当社は、保証の範囲内で、製品または個別部品の交換または修理、装置の回収および購入価格の払い戻しを行うべきかどうか判断します。したがって、材料および作業時間に関する費用は当社が負担致します。（交換を行った場合）交換対象製品または部品の所有権は当社に移転します。

2. 保証期間および登録

製品の保証期間は36ヶ月です。特に交替作業またはリース使用など、工業利用または同等の消耗が予想される場合、保証期間は12ヶ月です。ガソリンまたはエア駆動装置の保証期間も12ヶ月です。保証期間は、認定専門店が製品を納入した日から開始します。購入書類の原本に記載されている日付が正式な日付です。2009年2月1日以降認定専門店で購入いただいた全製品について、当該装置を購入されたお客様が、認定専門店の納品日から4週間以内に以下の条件にしたがって登録を行われた場合、保証期間を24ヶ月延長致します。登録手続きは、インターネット (www.wagner-group.com/profi-guarantee) で行うことができます。購入日を記載した購入書類の原本と同様に、保証書は、確認書として有効です。登録時に入力された情報を当社が保管することに同意いただける場合のみ、登録を行っていただけます。保証にもとづいてサービスが実施された場合、当該製品の保証期間の延長または更新は行われません。保証期間終了後は、保証に対する請求または保証に基づく請求を行うことはできません。

3. 取扱いについて

保証期間中に装置の材料、加工、または性能に欠陥が認められた場合は、直ちに、または、遅くとも2週間以内に保証請求を行っていただく必要があります。装置をお届けした認定専門店が保証請求の受け付けを行います。保証請求は、当社の取扱説明書に記載されているサービスセンターでも受け付けています。製品は、無料でご送付いただくか、購入日および製品名等の詳細が記載された購入書類の原本と一緒にご提示ください。保証の延長をお申し出の場合は、保証書を同封してください。輸送中の製品の紛失もしくは破損、または保証請求の受付もしくは修理済み製品の配達を行ったセンターによる製品の紛失または破損に関する費用および危険負担は、お客様のご負担となります。

4. 保証の排除

以下に該当する場合、保証請求は考慮されません。

- 使用による部品の損耗またはその他の自然消耗、および自然消耗または使用による損耗の結果生じた製品の欠陥これには、特にケーブル、バルブ、包装、ノズル、シリンダー、ピストン、ハウジング部品、フィルター、パイプ、シール、ローター、ステーター等が含まれます。
- 分散液、石膏、パテ、接着剤、上薬、石英下地等、特に砂入り塗料によって引き起こされた損耗による損傷
- 購入者または第三者による、取扱説明書の不順守、不適切な使用、誤った組み立ておよび試運転、意図された目的以外の使用、不適切な環境条件、不適切な使用条件、不適切な電源電圧/周波数での使用、過度な使用または保守点検・管理・清掃の不備等が原因で装置に異常が発生した場合
- Wagner純正部品ではない付属部品、追加部品、または予備部品を使用したために発生した装置の異常
- 改造または追加が行われた製品
- 製造番号が除去されている、あるいは製造番号が判読できない製品
- 権限のない者によって修理が試みられた製品
- 装置の価値および有用性について無視できる程度ではあるが、対象特性からわずかに逸脱がみられる製品
- 一部または完全に分解された製品

5. 追加規定

上記保証は、EU、CIS、オーストラリアの認定専門店によって購入され、当該国で使用される製品にのみ適用されます。確認により、保証の対象とならないことが判明した場合、修理費用はお客様にご負担いただくこととなります。上記規定は、最終的に当社との法的関係を支配します。特に、製品または製品を使用した結果発生した損害および損失に対する追加補償請求は、適用範囲に関するもの以外、製造物責任法から除外されます。専門業者に対する瑕疵担保責任に関する請求は、影響を受けません。本保証にはドイツの法律が適用されます。契約上の言語はドイツ語とします。本保証のドイツ語の文章と外国語の文章の意味に齟齬が生じ多量の場合、ドイツ語で書かれた文章の意味が優先されます。

J. Wagner GmbH
Division Professional Finishing
Otto Lilienthal Strasse 18 88677
Markdorf
Federal Republic of Germany

廃棄に関する注意:

電気・電子機器廃棄物に関する欧州指令2002/96/ECの遵守および国内法令の履行において、本製品は、家庭ゴミと一緒に廃棄せず、環境に優しい方法でリサイクルすることが義務付けられています。Wagnerまたは当社の販売店は、お客様のために、使用済みWagner製電気・電子機器廃棄物を回収し環境に優しい方法で処分するサービスを行っています。お住まいの地域のWagnerサービスセンターまたは販売店にお問い合わせいただくか、当社に直接ご連絡ください。





WAGNER 日本ワグナー・スプレーテック株式会社

本社: 〒574-0057 大阪府大東市新田西町2-35 TEL:072-874-3561 FAX072-874-3426

札幌 TEL.090-8824-4320 関東 TEL.042-379-1161 関西 TEL.072-874-3558 福岡 TEL.092-472-5533

FAX.042-379-1166 FAX.072-874-3426 FAX.092-471-8206

仙台 TEL.090-8822-5956 名古屋 TEL.090-1071-0884 鹿児島 TEL. 090-8822-9963

FAX. 099-278-7165

◎仕様・部品番号・価格は予告なく変更することがあります。